

○桑名市  
「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」  
「子ども・若者の生活実態・意識調査」  
結果報告書【速報版】

もくじ

I	調査の概要 .....	1
II	子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果のまとめ .....	2
	1 就学前の子どもの保護者調査 .....	2
	2 小学生の保護者調査 .....	20
III	子ども・若者の生活実態・意識調査（13～29歳）結果のまとめ .....	34

## I 調査の概要

調査の種類	子ども・子育て支援に関するニーズ調査		子ども・若者の生活実態・意識調査
	就学前の子どもの保護者調査	小学生の保護者調査	
調査対象者	令和6年2月1日現在、就学前の子どもの保護者(全世帯)	令和6年2月1日現在、小学生の保護者(抽出)	令和6年2月1日現在、13～29歳の市民
調査方法	配付：郵送 回収：web及び郵送	配付：学校（一部郵送） 回収：web及び郵送	配付：郵送 回収：webおよび郵送
調査期間	令和6年2月8日～29日		
回収結果	配布数	4,722	2,000
	(Webによる回収数・率)		
	回収数	1,443	899
	回収率	30.3%	45.0%
			3,000
			620
			20.7%

※世帯に就学前の子どもの複数いる場合には、いずれか一人の子どもの状況等を調査

### ▽集計にあたって

- ① 速報版においては、集計の途中経過として、**webによる回答**について集計しました。
- ② 回答の比率は、その設問の回答数を基数（n）として算出しました。したがって、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えます。
- ③ 回答率（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しました。したがって、単数回答の場合であっても比率の合計が100%にならない場合があります。

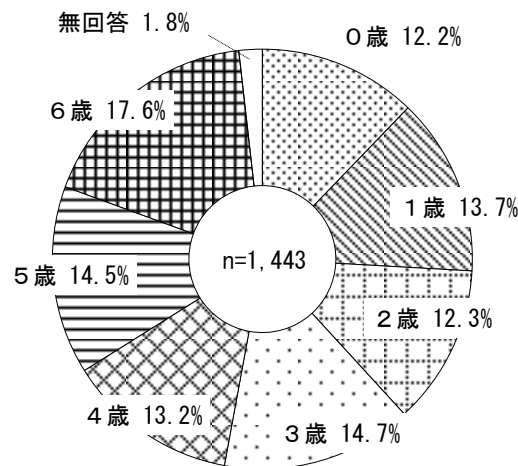
## Ⅱ 子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果のまとめ

### 1 就学前の子どもの保護者調査

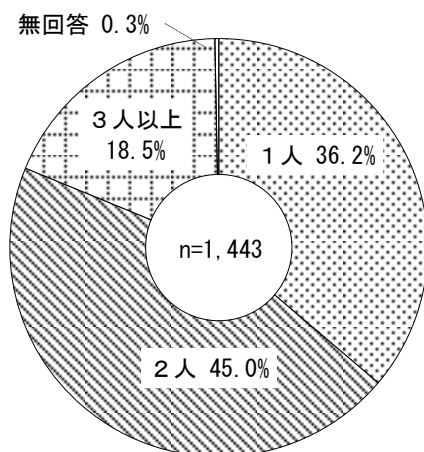
(1) 居住地区（小学校区）／Q 1

地区	日進	精義	立教	城東	益世	修徳	大成	桑部	在良	七和	久米	深谷	城南
%	4.2	3.3	2.4	0.6	8.0	5.5	8.5	3.1	4.6	5.0	4.0	1.3	5.1
地区	大和	大山田東	大山田北	大山田西	大山田南	藤が丘	星見ヶ丘	多度東	多度中	多度北	多度青葉	長島北部	長島中部
%	1.0	9.3	4.6	1.5	4.0	4.9	4.0	0.5	3.7	1.1	0.9	2.1	4.2
地区	伊曽島	答えい わから ない	全 体										
%	0.7	1.9	n=1,443										

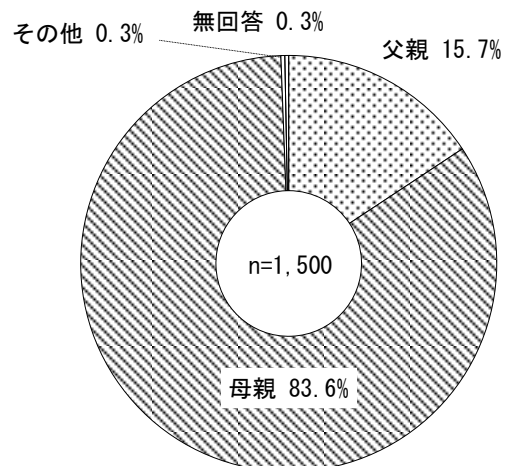
(2) 年齢（令和6年2月1日現在）／Q 2



(3) 子どもの人数／Q 3

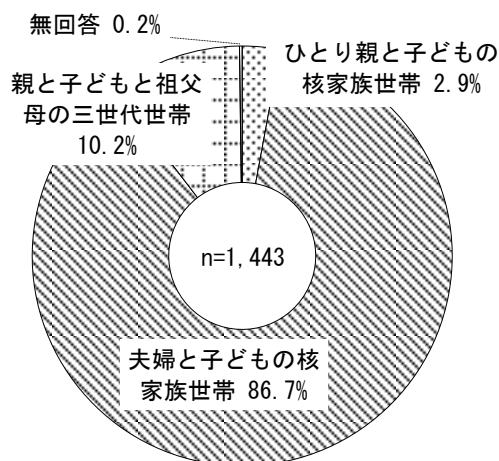


(4) アンケートの回答者／Q 4

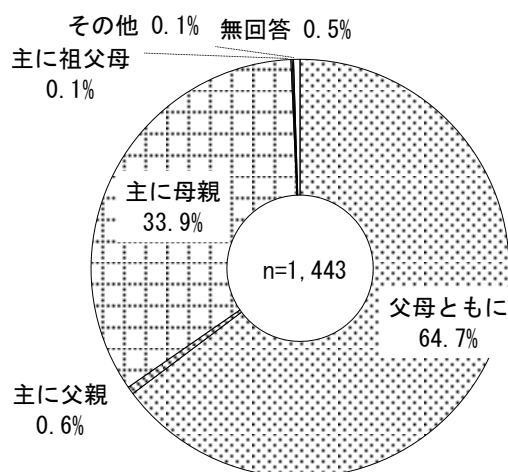


(5) 世帯構成／Q 5・6

・夫婦と子どもの核家族世帯が86.7%と圧倒的に高く、親と子どもと祖父母の三世帯世帯が10.2%です。ひとり親と子どもの核家族世帯は2.9%です。

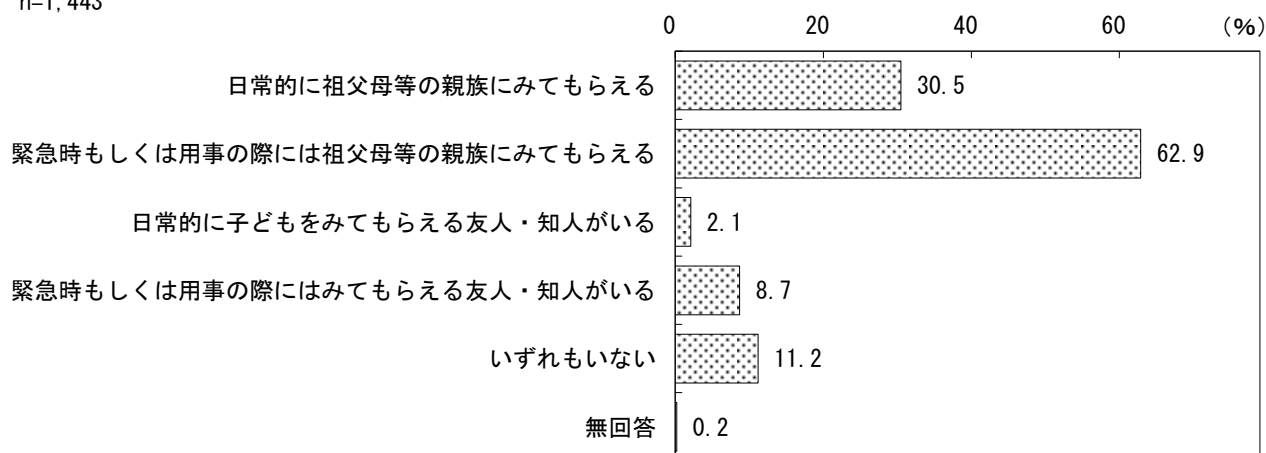


(6) 主に子育てをしている人／Q 7



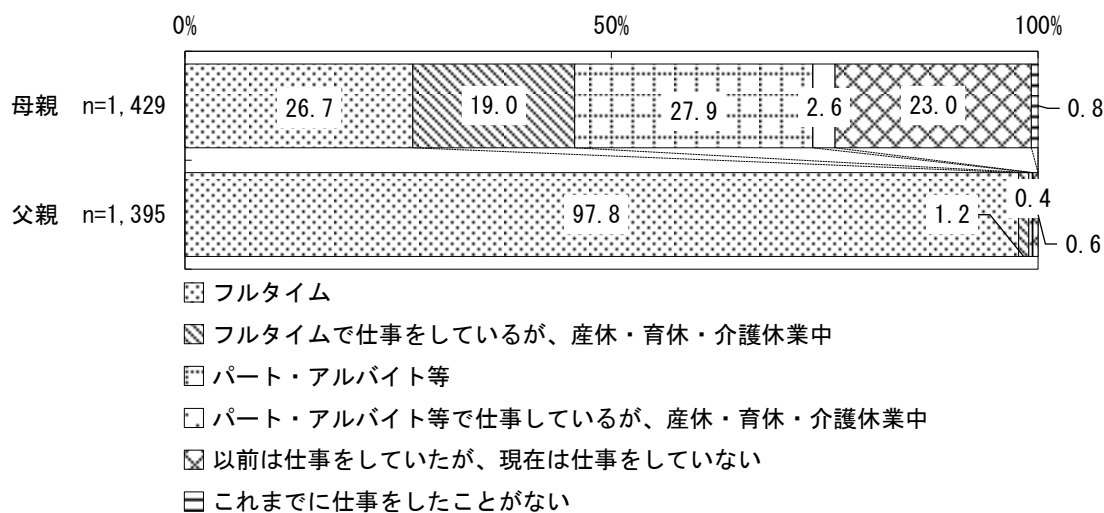
(7) 子どもをみてくれる親族等の有無／Q 8 (複数回答)

n=1,443



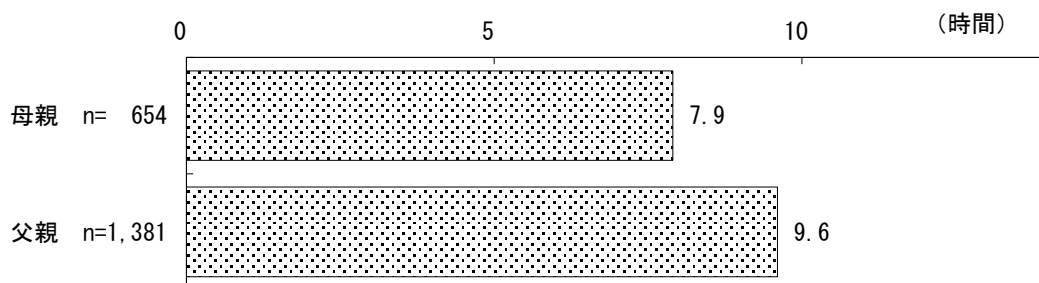
(8) 保護者の就業状況／Q9・Q13

・母親は、「以前は仕事をしていたが、現在は仕事をしていない」が27.9%と最も多く、次いで「フルタイム」が26.7%となっているのに対し、父親は、「フルタイム」が97.8%を占めています。

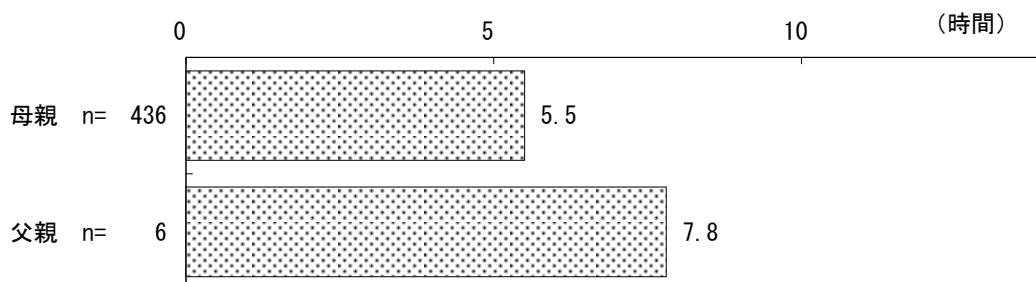


(9) 平均就業時間／Q10・Q14

(フルタイム)

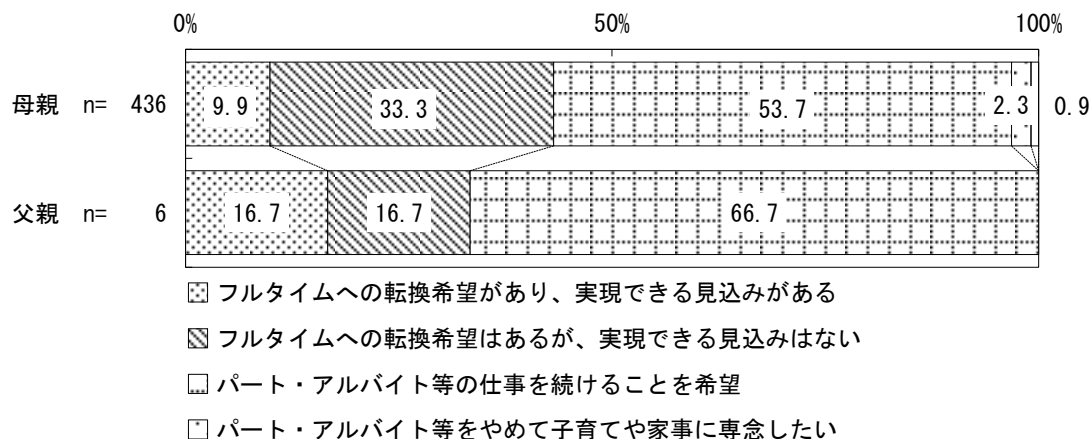


(パート・アルバイト等)



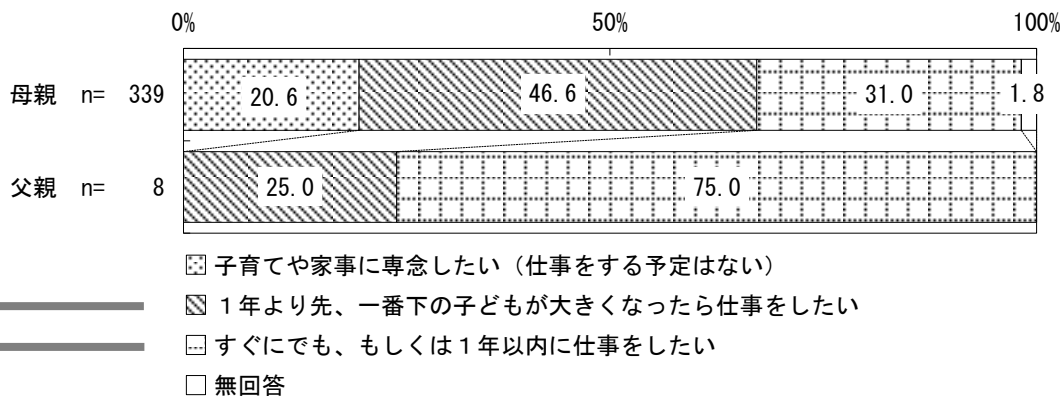
(10) パート・アルバイト等のフルタイムへの転換希望／Q11・Q15

・パート・アルバイト等で働いている母親の40%以上は、フルタイムでの就労を希望します。



(11) 仕事をしていない人の就労希望／Q12・Q16

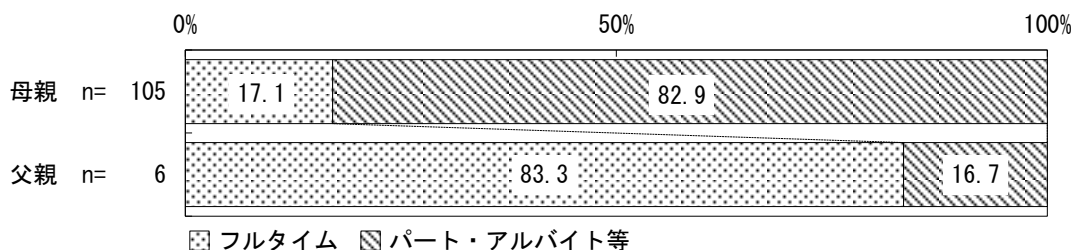
・現在、仕事をしていない母親の75%以上が就労を希望しています。  
 ・「すぐにでも、もしくは1年以内に仕事をしたい」と回答した母親の80%以上は「パート・アルバイト等」を希望しています。



<子どもが〇歳になった頃>

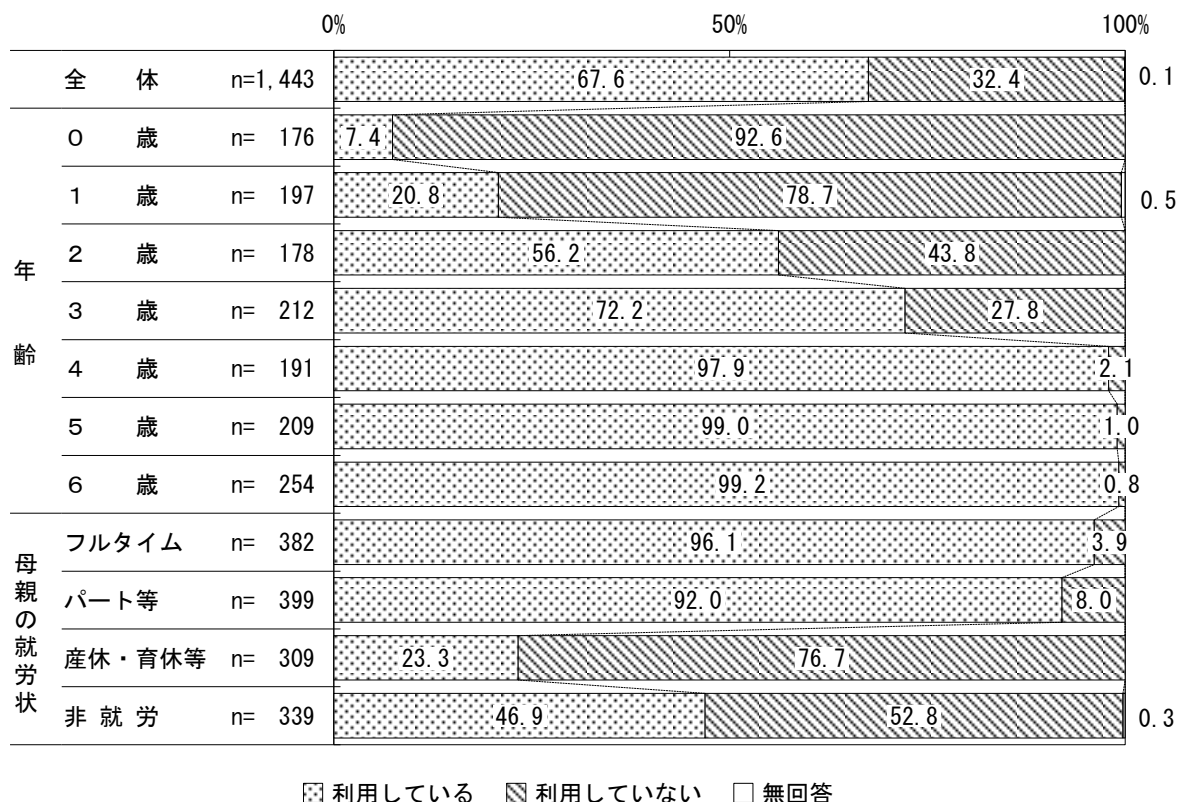
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7～9歳	10～12歳	13歳以上	無回答
母親 n=158	5.7	6.3	31.0	12.0	8.9	7.6	19.0	7.6	-	1.9

<希望する仕事の形態>



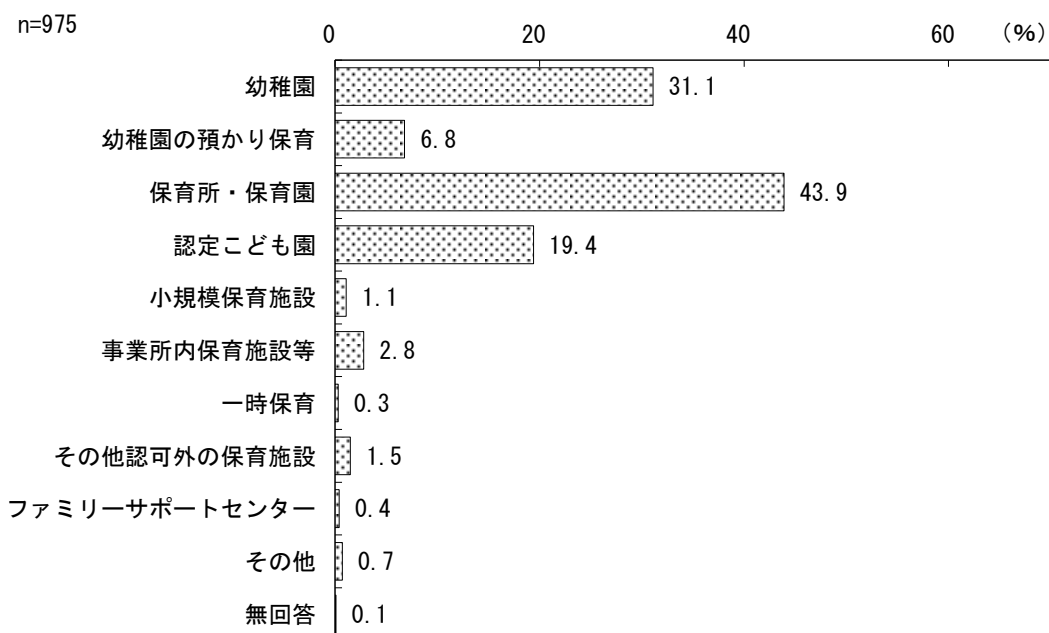
(12) 定期的に利用している教育・保育事業の利用状況／Q17

・平日の教育・保育事業の利用は、子どもの年齢が高くなるにしたがい高くなり、4歳以上では95%を超えます。



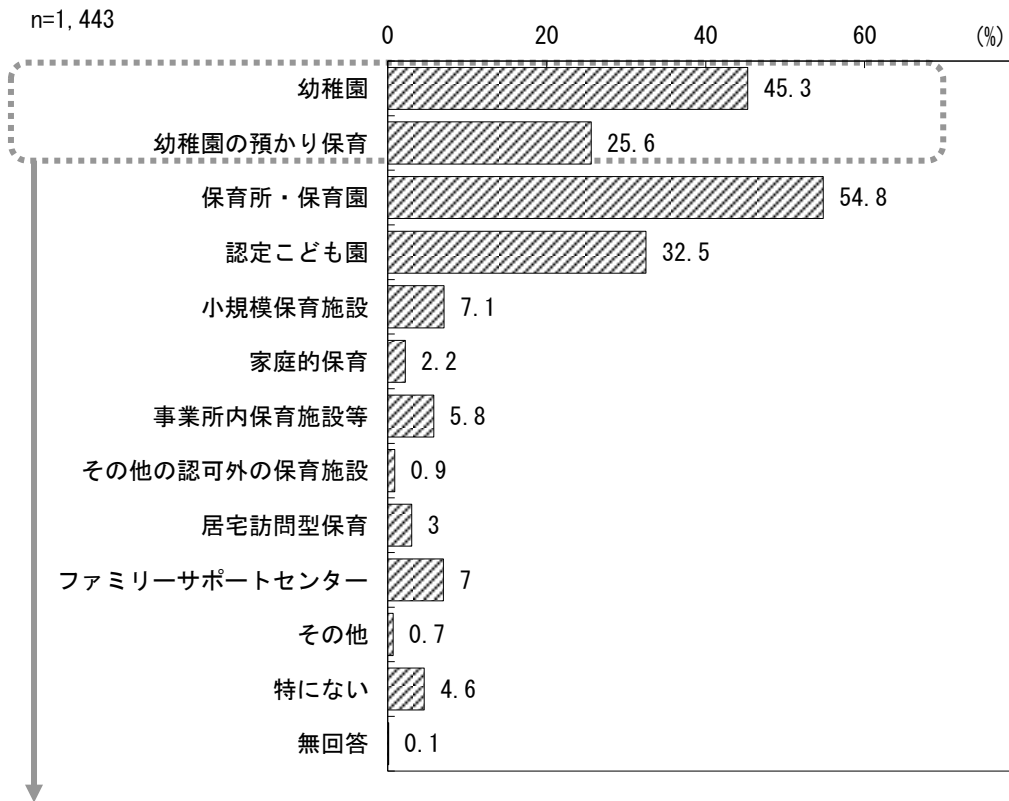
(13) 定期的に利用している教育・保育事業の種類／Q18(複数回答)

・平日、定期的に利用している教育・保育事業は、「保育所・保育園」が43.9%、「幼稚園」が31.1%、「認定こども園」が19.4%です。

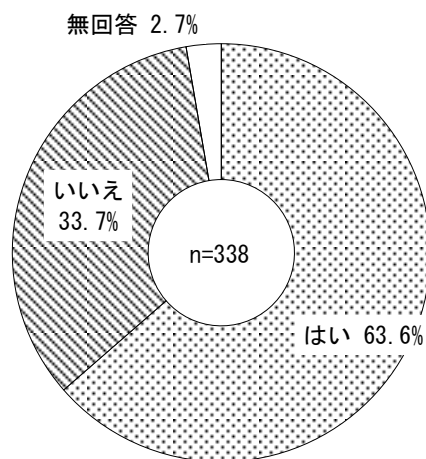


(14) 定期的に利用したい教育・保育事業／Q20・20-1(複数回答)

- ・平日、定期的に利用したい教育・保育事業は、「保育園」が54.8%、「幼稚園」が45.3%、「認定こども園」が32.5%です。

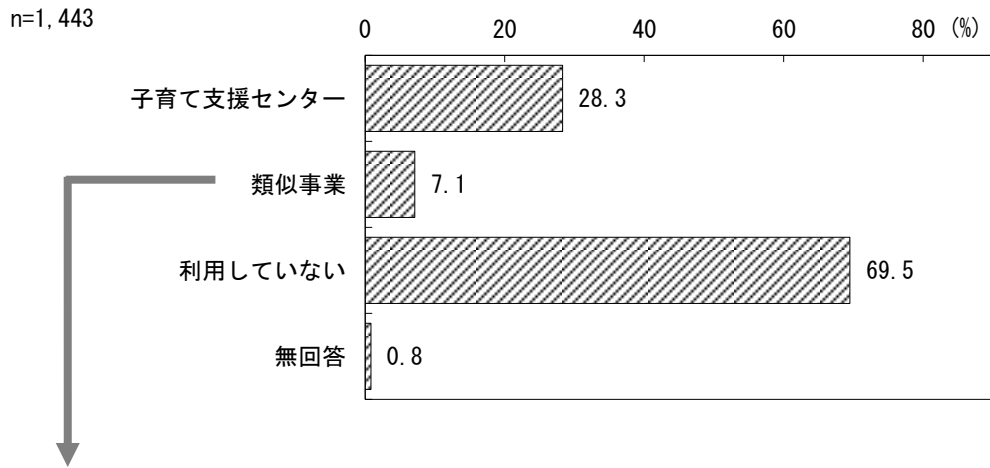


<幼稚園の利用を強く希望するか>

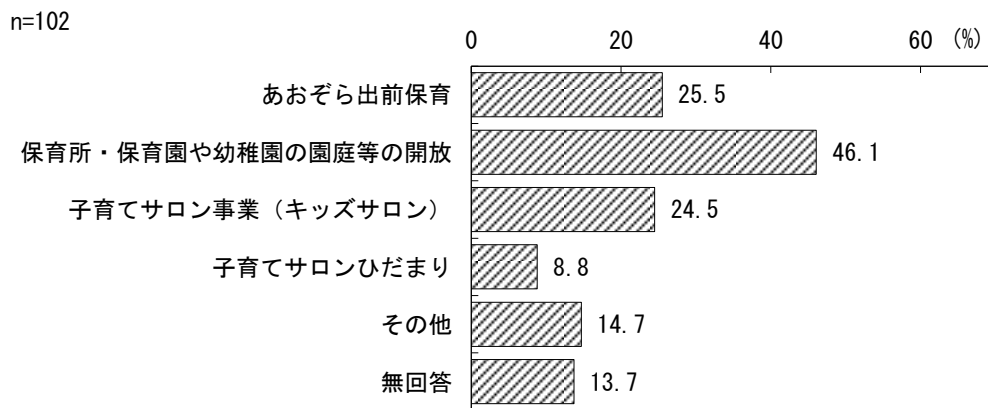


(15) 子育て支援事業の利用状況／Q22-1 (複数回答)

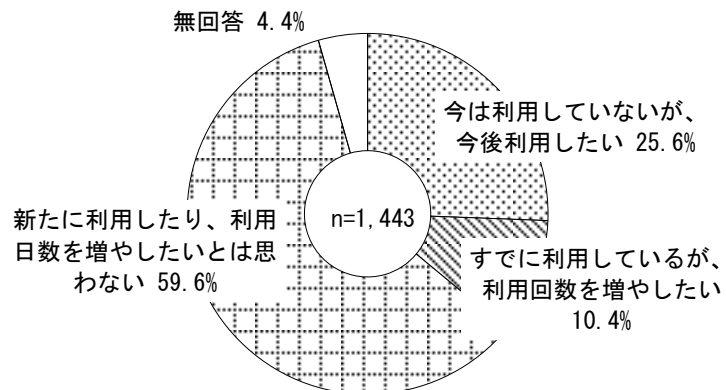
- ・子育て支援センターを利用している人は28.3%、あおぞら出前保育や園庭開放など類似事業を利用している人は7.1%です。



<類似業務の種類>

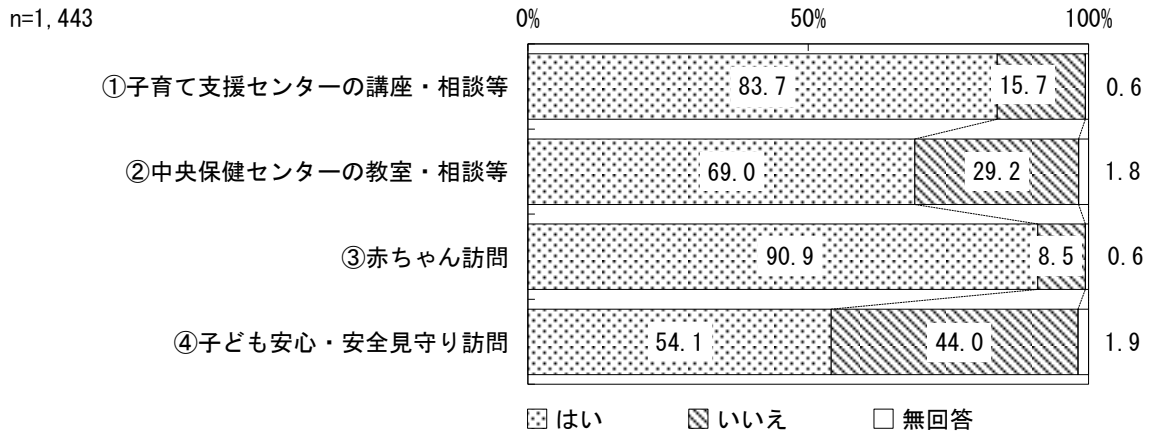


(16) 子育て支援事業の利用意向／Q21-2

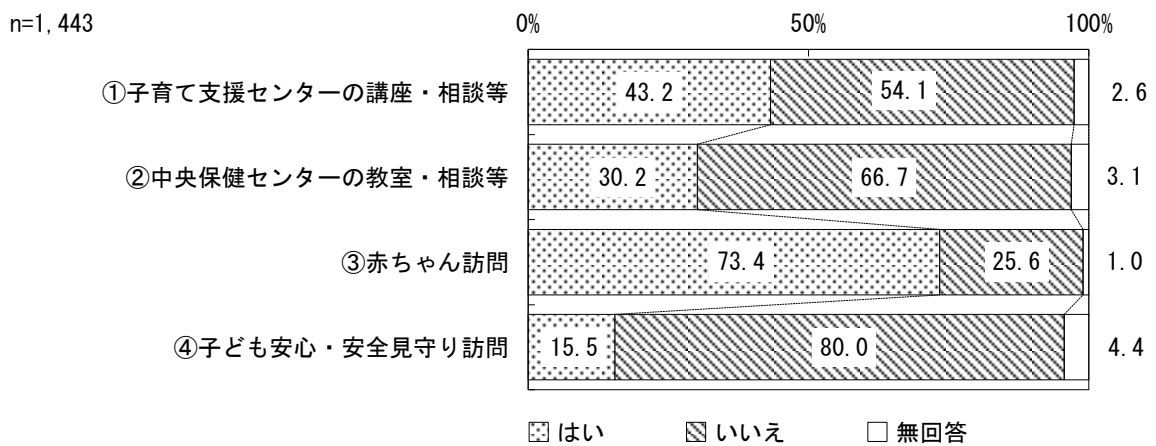




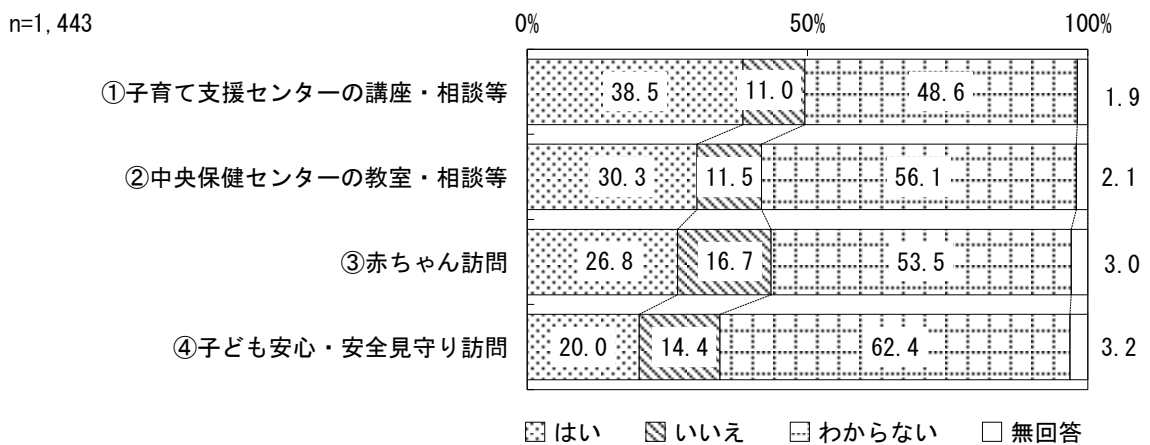
(17) 各種事業の認知度（「知っている」）／Q22A



(18) 各種事業の利用状況（「これまでに利用したことがある」）／Q22B

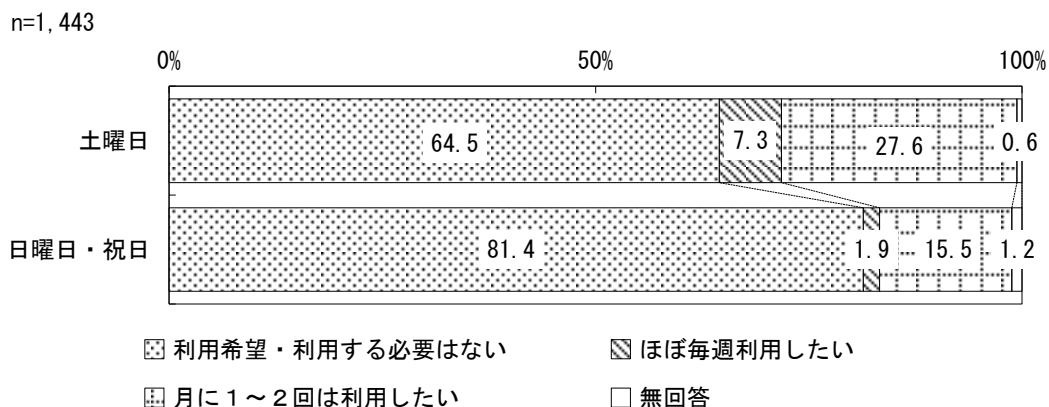


(19) 各種事業の利用意向（「今後利用したい」）／Q22C



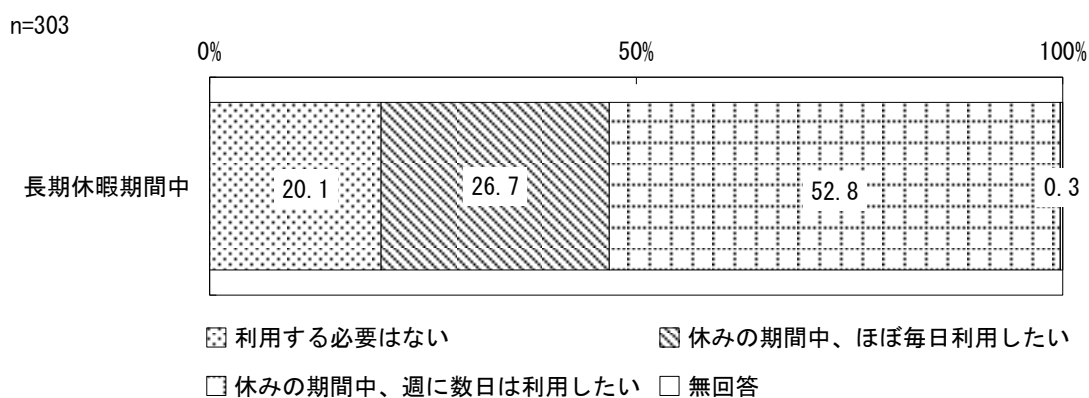
(20) 土曜・休日等の教育・保育事業の利用意向／Q23

・土曜・休日等の教育・保育事業の利用意向をみると、「ほぼ毎週利用したい」は、土曜日が7.3%、日曜日・祝日が1.9%となっています。



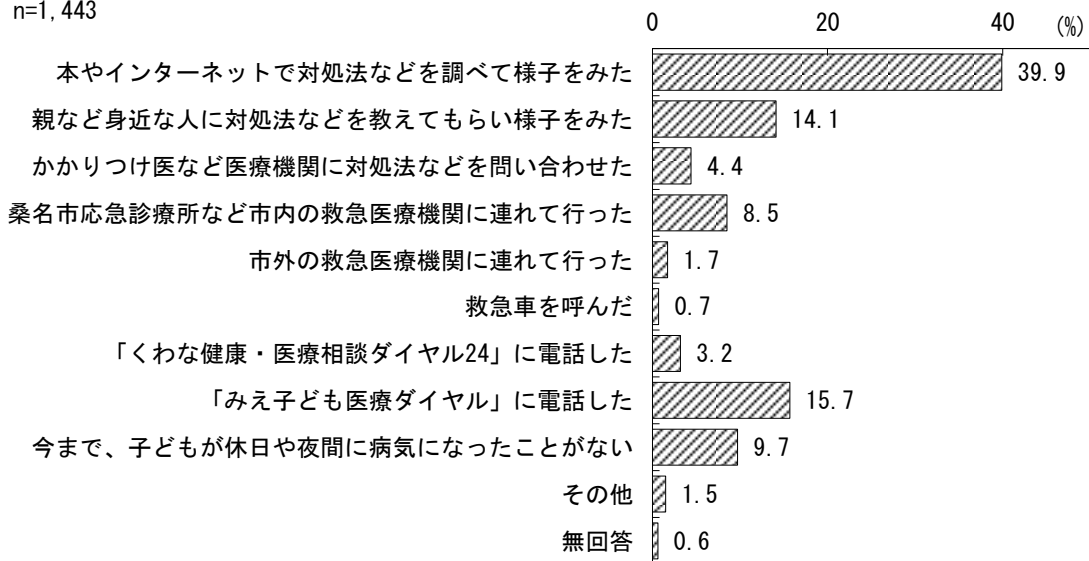
(21) 幼稚園利用者の夏休みなど長期休暇期間中の教育・保育事業の利用意向／Q24

・幼稚園を利用している人の夏休みなど長期休暇期間中の教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は26.7%となっています。



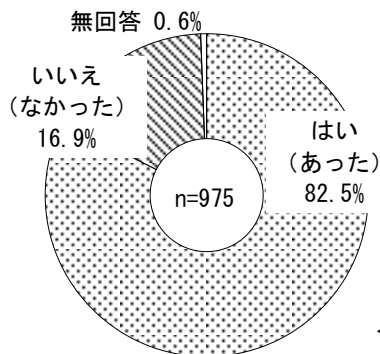
(22) 子どもが休日・夜間に病気になった時の対応／Q25

n=1,443

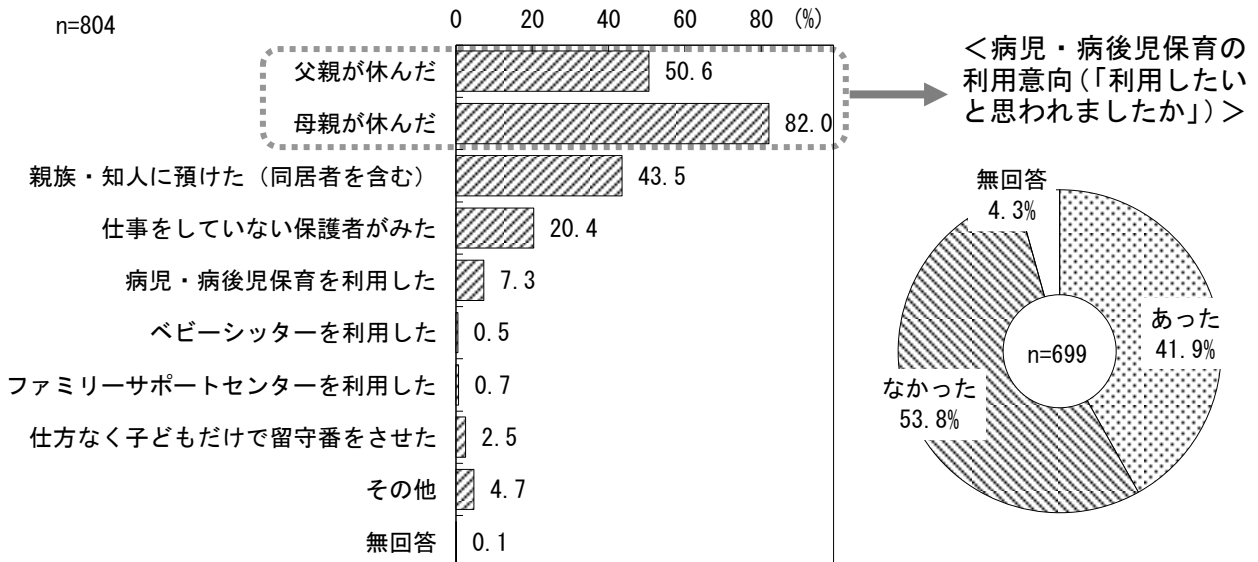


(23) 子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったこと／Q26～28

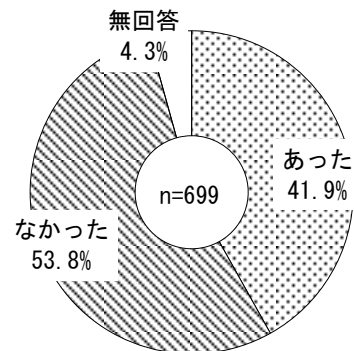
・教育・保育事業を利用している人の82.5%が、子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」と回答しており、その対処法としては、「母親が休んだ」が82.0%と最も高くなっています。



<対処法> (複数回答)

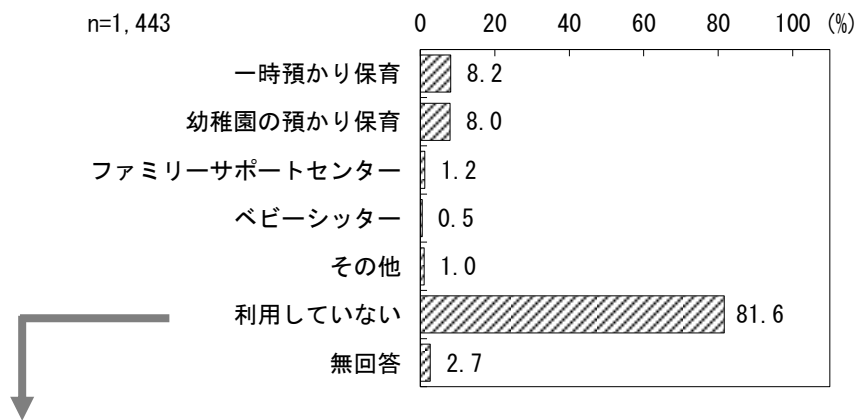


<病児・病後児保育の利用意向(「利用したいと思われましたか」)>



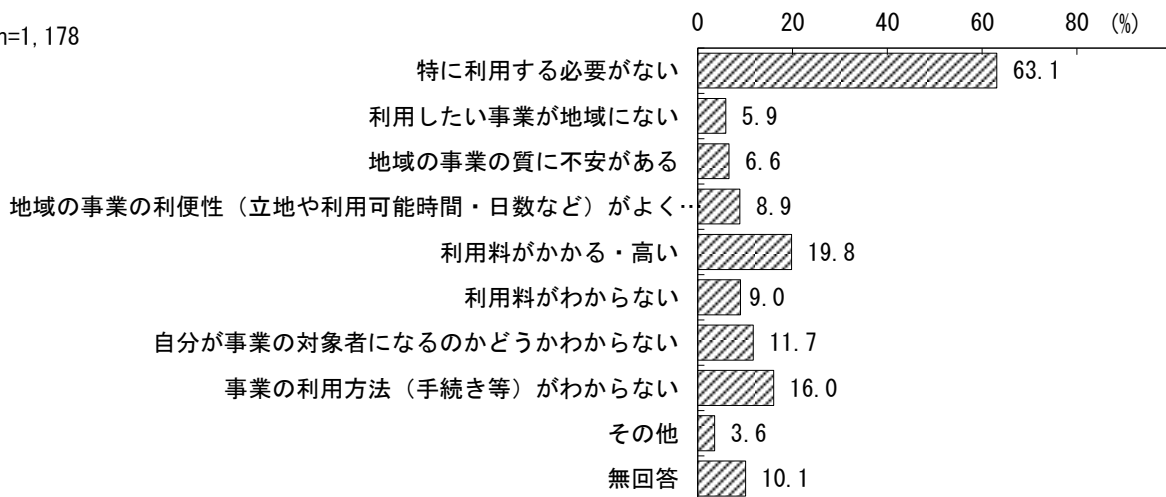
(24) 不定期に利用している教育・保育事業（一時預かり保育等）／Q31・32（複数回答）

- ・ 不定期の教育・保育事業として、「一時預かり保育」が8.2%、「幼稚園の預かり保育」が8.0%あります。



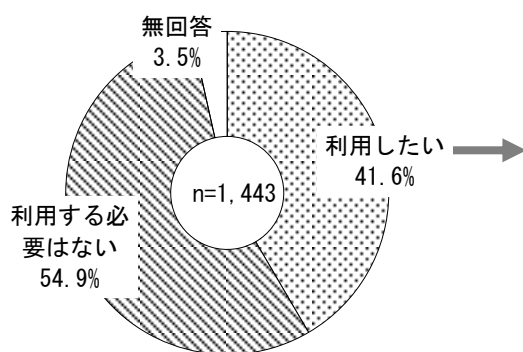
<利用していない理由>

n=1,178



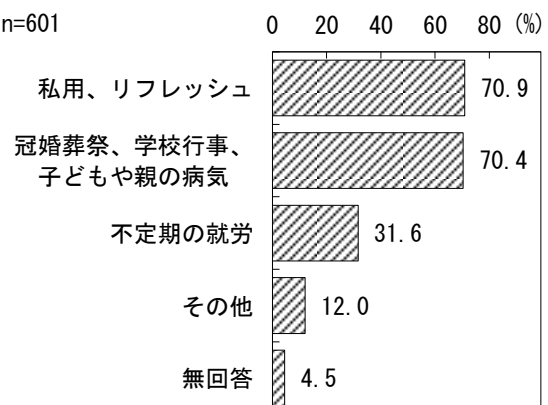
(25) 不定期な教育・保育事業（一時預かり保育等）の利用意向／Q33

- ・ 一時預かり保育など不定期の教育・保育事業の利用意向は41.6%あります。
- ・ 利用したい理由としては、「私用、リフレッシュ」および「冠婚葬祭、学校行事、子どもの親の病気」が高くなっています。



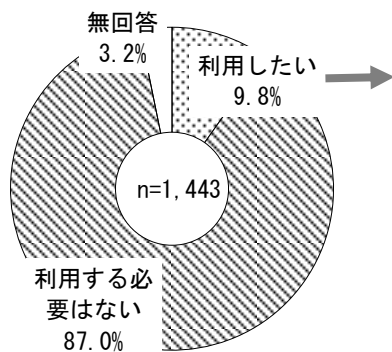
<利用したい理由>（複数回答）

n=601

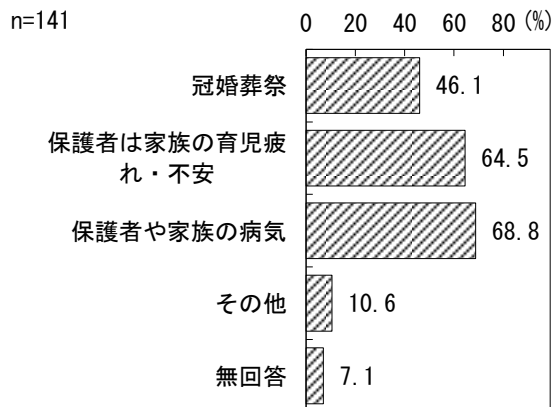


(26) 短期入所生活援助（ショートステイ）の利用意向／問34

- ・短期入所生活援助（ショートステイ）の利用意向は9.8%あります。
- ・利用目的としては、「保護者や家族の病気」および「保護者や家族の育児疲れ・不安」が高くなっています。

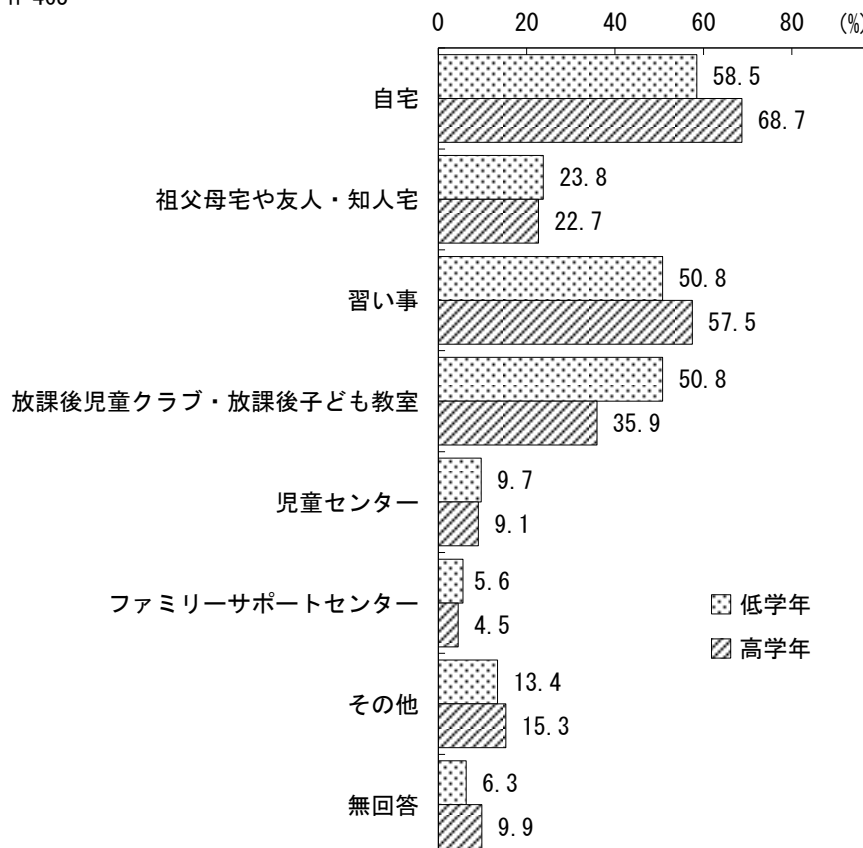


<利用目的> (複数回答)



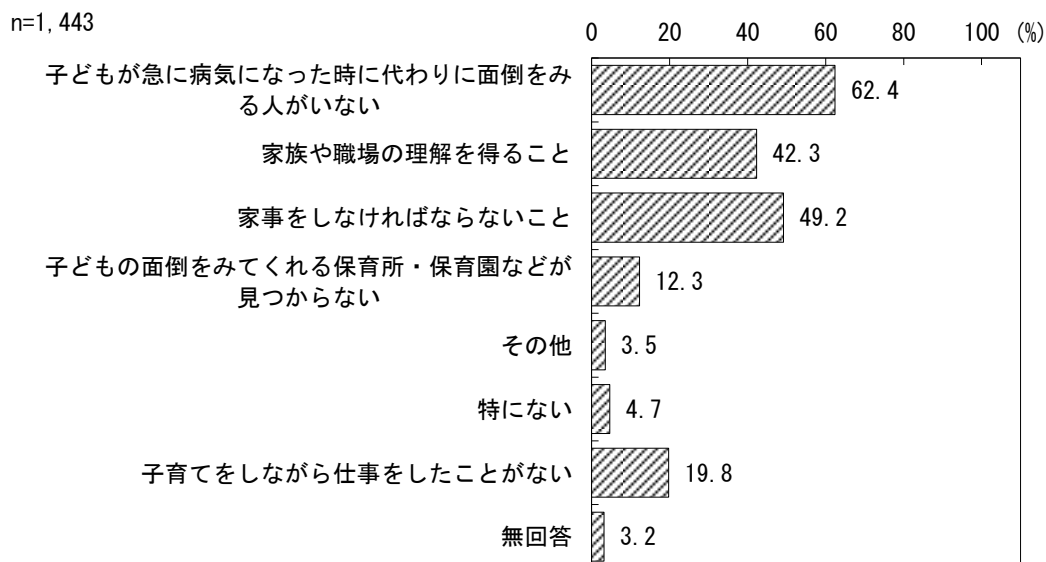
(27) 小学校就学後、放課後をどのような場所で過ごさせたいか（5歳以上）／Q35(複数回答)

n=463



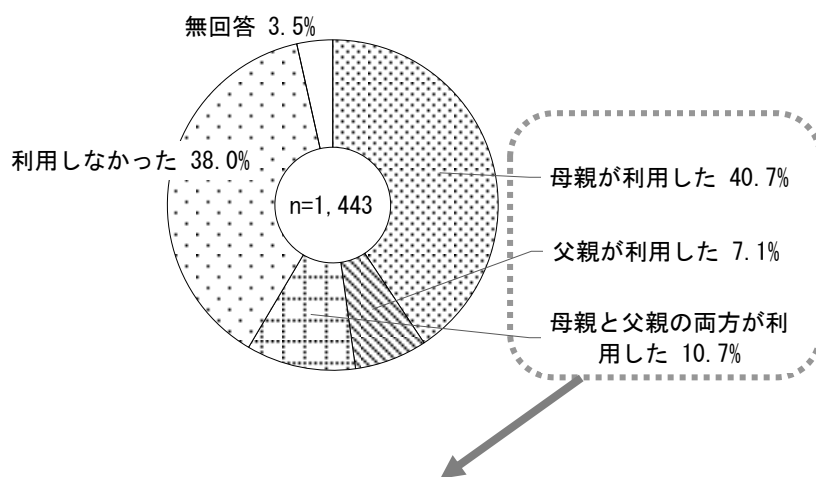
(28) 仕事と子育ての両立が難しいと感じたこと／Q36

- ・両立が難しいと感じたことは、「子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」が62.4%と最も高く、次いで「家事をしなければならないこと」「家族や職場の理解を得ること」などが高くなっています。

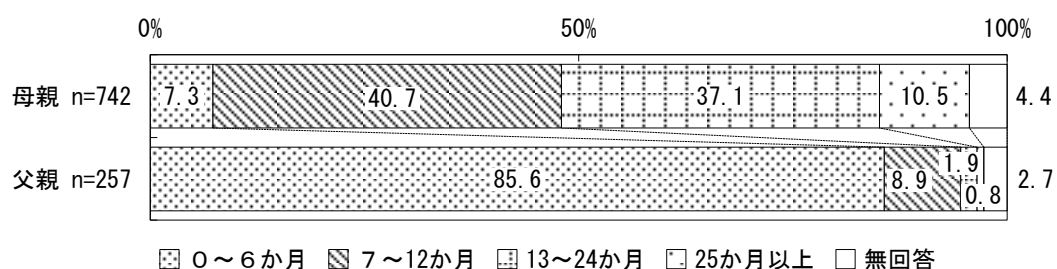


(29) 育児休業の利用状況／Q37・38

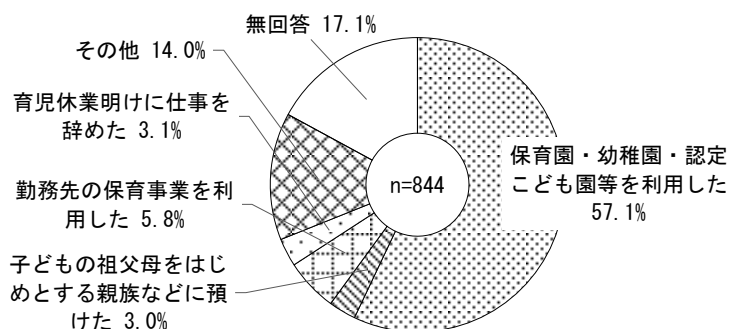
- ・育児休業の利用状況を見ると、「母親が利用した」は40.7%、「母親と父親の両方が利用した」は10.7%、「父親が利用した」は7.1%です。



<育児休業の期間>

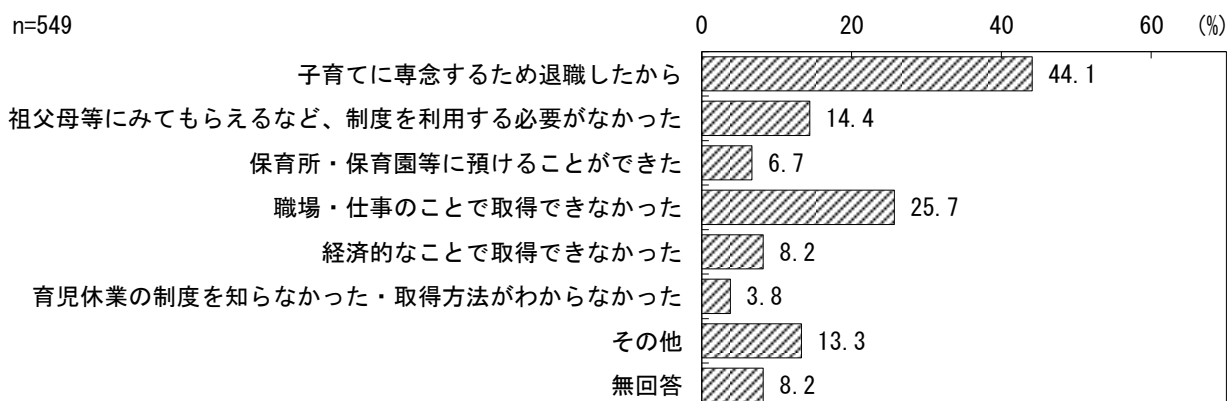


<育児休業明けの保育事業の利用>



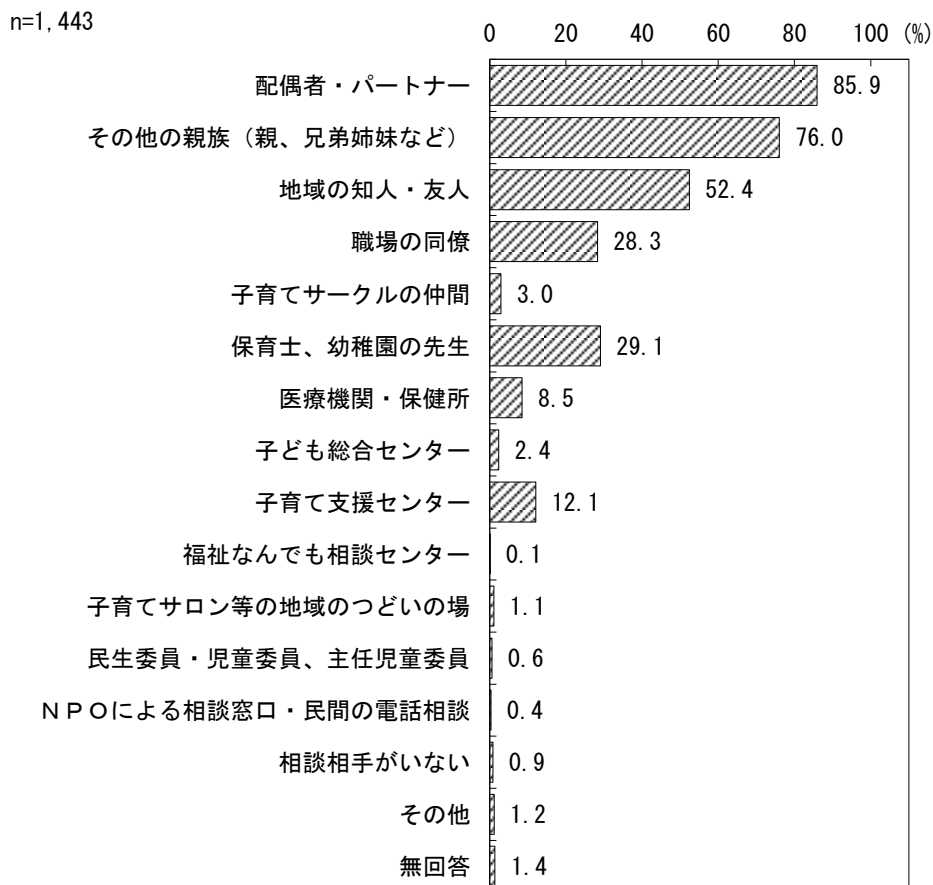
<育児休業を利用しなかった理由>/Q39(複数回答)

・育児休業を利用しなかった人の利用しなかった理由は、「子育てに専念するため退職したから」が44.1%と最も高くなっていますが、「職場・仕事のことで取得できなかった」も20%以上と比較的高くなっています。



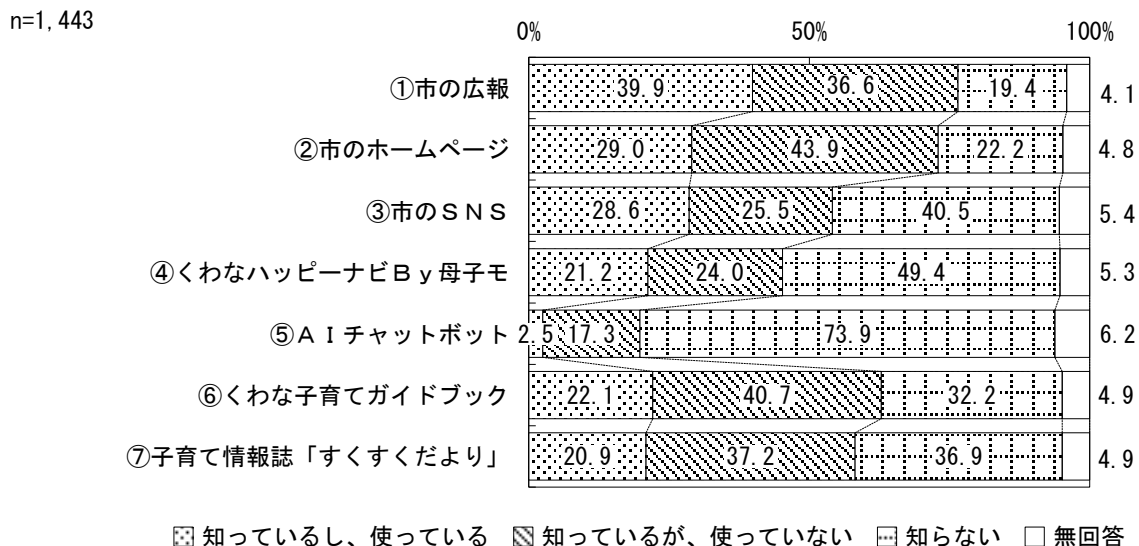
(30) 子育てに関する悩みや不安の相談相手／Q40(複数回答)

- ・相談相手は、「配偶者・パートナー」「その他の親族（親、きょうだいなど）」など身近な人が高くなっています。



(31) 子育てに関する情報発信の認知度／Q41

- ・子育てに関する情報発信の認知度について、「知っているし、使っている」が最も高いのは、①市の広報で約40%、次いで②市のホームページ、③市のSNSとなっています。

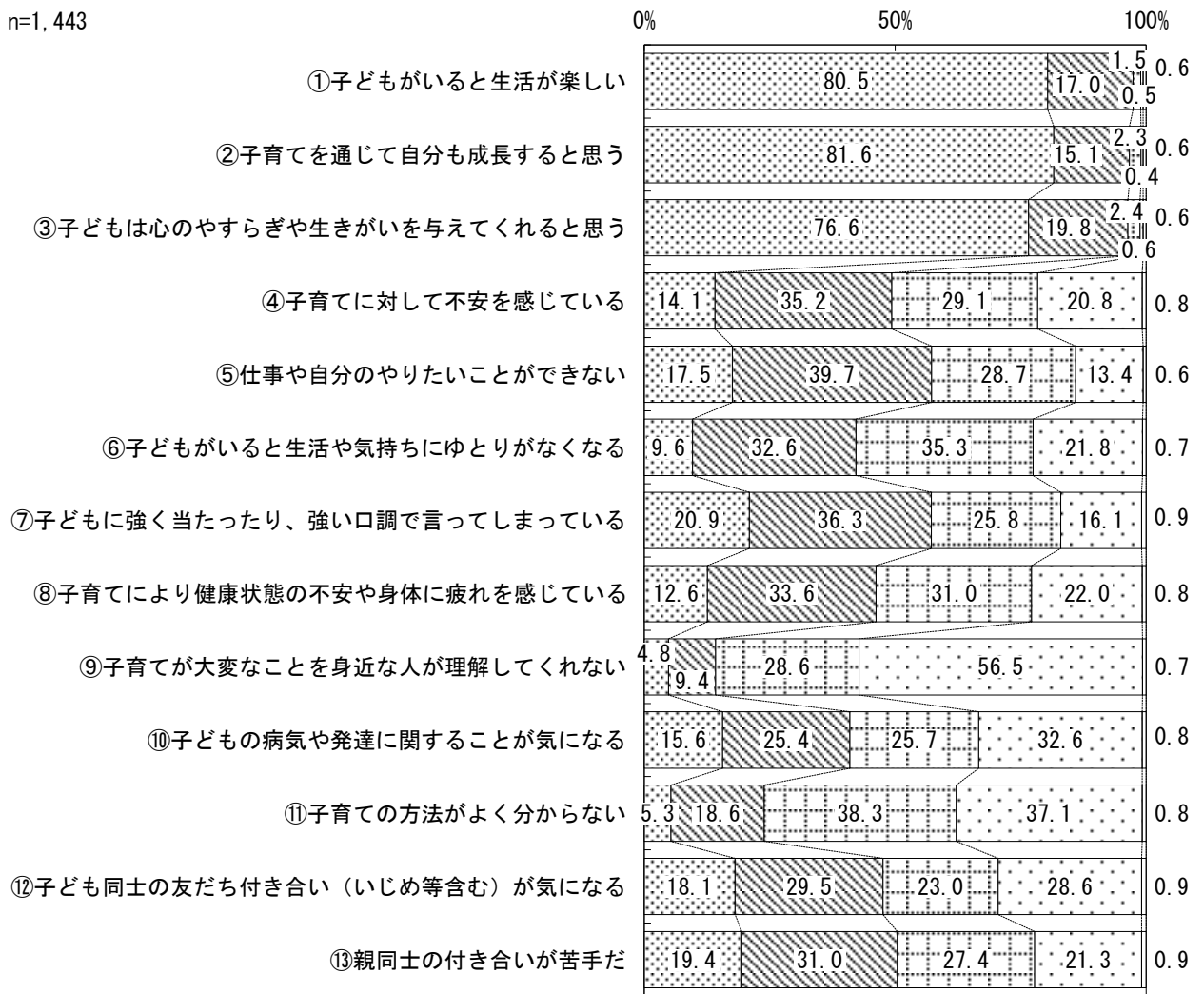




(32) 子育てについて感じていること／Q42

・①～③について「4（そう思う）」が75%を超えており、子どもの存在が自分の人生や生活に対してプラスに働いていると感じている人が多いことがわかります。その反面、④以降についても「3」が30%を超えている項目が多く、不安や悩みを抱えながら子育てをしている現状も見過ごせません。

n=1,443

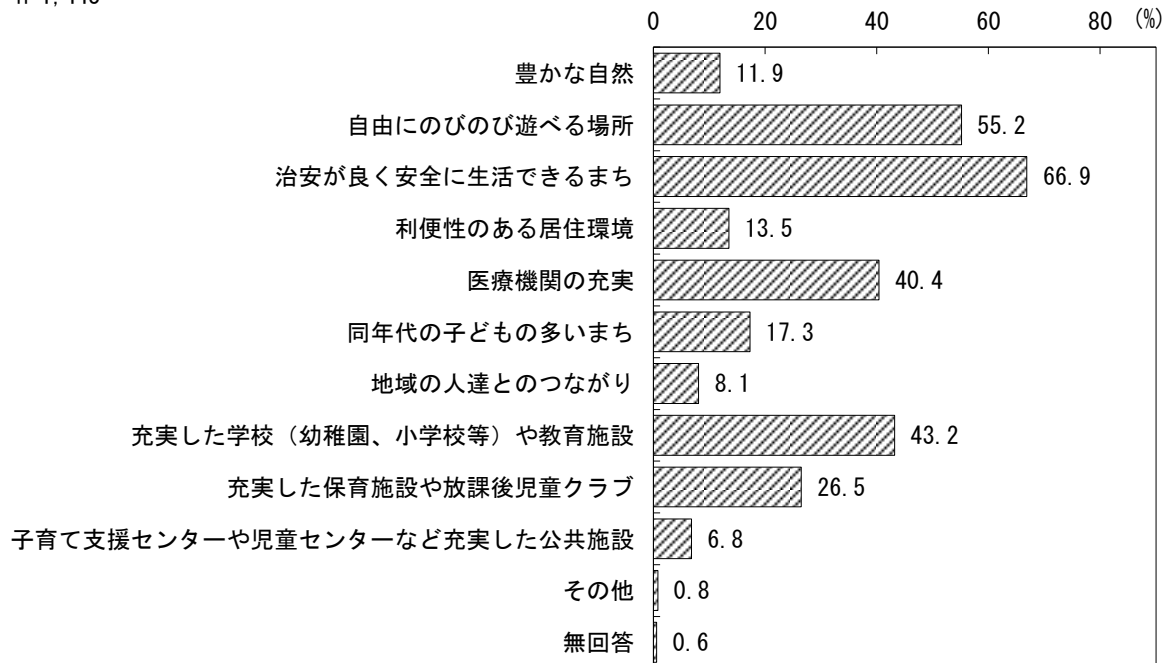


■ 4 (そう思う) ■ 3 ■ 2 ■ 1 (思わない) ■ 無回答

(33) 子どもを育てる環境として重要だと思うこと／Q43(複数回答)

・子どもを育てる環境として重要だと思うこととしては「治安がよく安全に生活できるまち」および「自由にのびのび遊べる場所」が高くなっています。

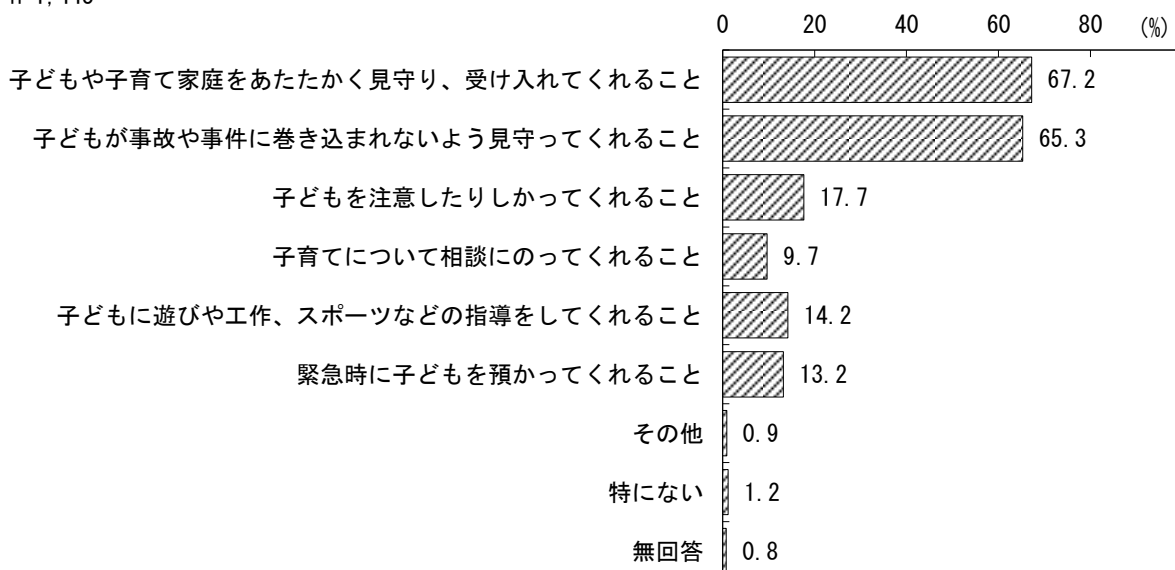
n=1,443



(34) 子育てに関して地域に望むこと／Q44(複数回答)

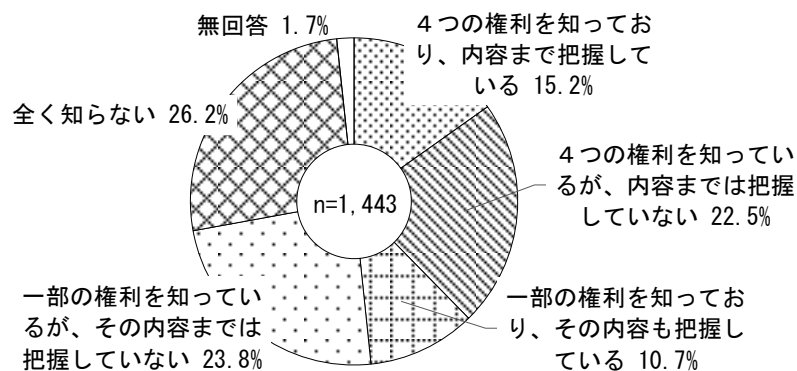
・子育てに関して地域に望むこととしては「子どもや子育て家庭をあたたく見守り、受け入れてくれること」および「子どもが事故や事件に巻き込まれないよう見守ってくれること」が高くなっています。

n=1,443



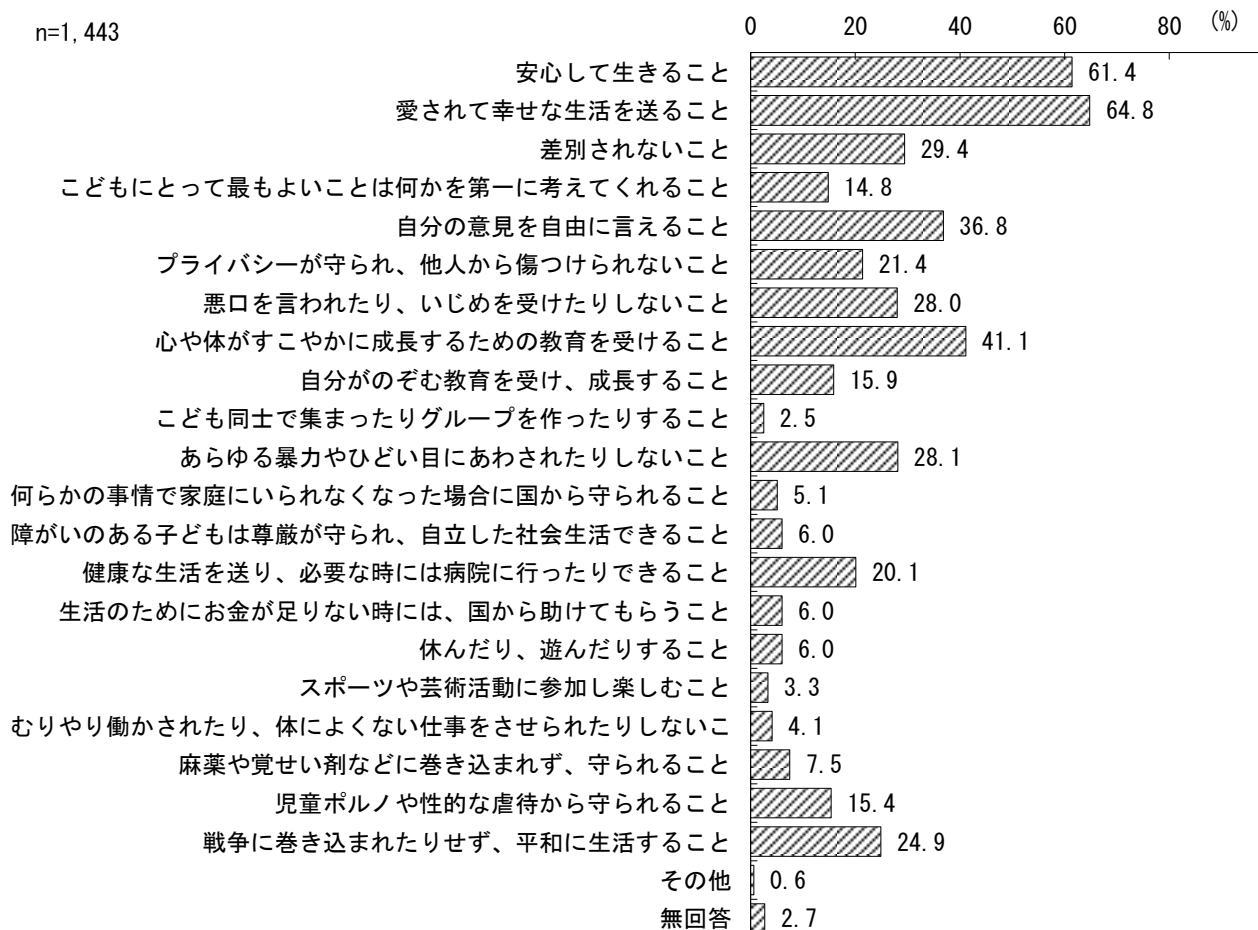
(35) 子ども権利条約に基づく4つの権利の認知度／Q45

- 子ども権利条約に定められている4つの権利（生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）の認知度は、「全く知らない」が26.2%、「一部の権利を知っているが、その内容までは把握していない」が23.8%、「4つの権利を知っているが、内容までは把握していない」が22.5%などとなっています。



(36) 特に大切にしなければならない権利／Q46(複数回答)

- 特に大切にしなければならないと思う子どもの権利については、「愛されて幸せな生活を送ること」および「安心して生きること」が高くなっています。

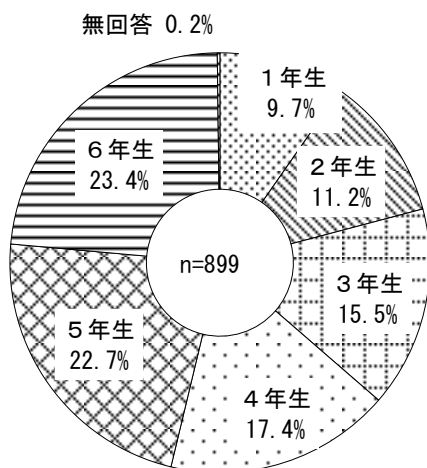


## 2 小学生の保護者調査

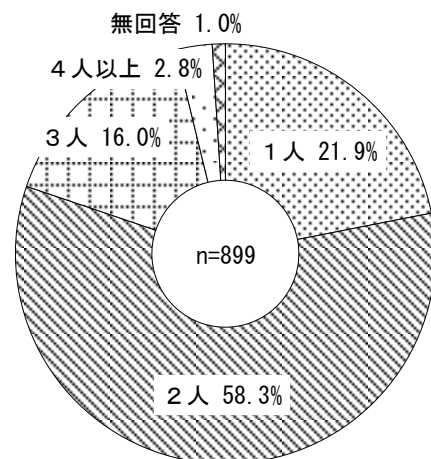
### (1) 居住地区（小学校区）／Q 1

地区	日進	精義	立教	城東	益世	修徳	大成	桑部	在良	七和	久米	深谷	城南
%	2.4	2.4	1.2	0.1	4.9	4.3	6.7	3.1	5.1	4.0	3.6	1.9	5.8
地区	大和	大山田東	大山田北	大山田西	大山田南	藤が丘	星見ヶ丘	多度東	多度中	多度北	多度青葉	長島北部	長島中部
%	1.7	12.8	9.3	1.7	4.0	4.6	4.0	0.4	5.3	1.0	1.1	1.6	5.0
地区	伊曾島	答いわ か 無ら 回な	全 体										
%	1.8	0.1	n=899										

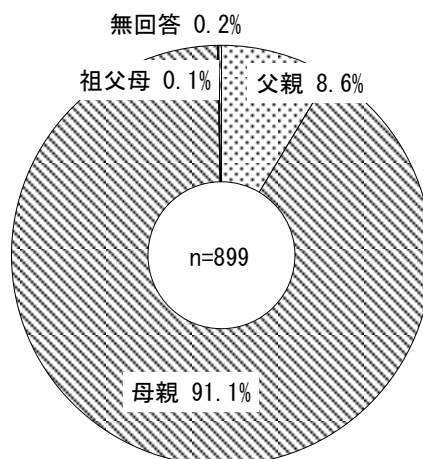
### (2) 学年／Q 2



### (3) 子どもの人数／Q 3

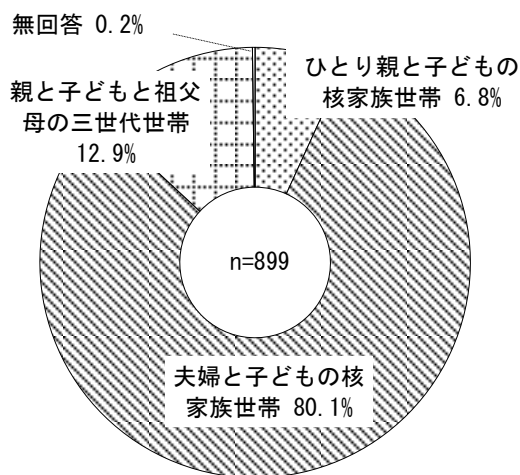


### (4) アンケートの回答者／Q 4

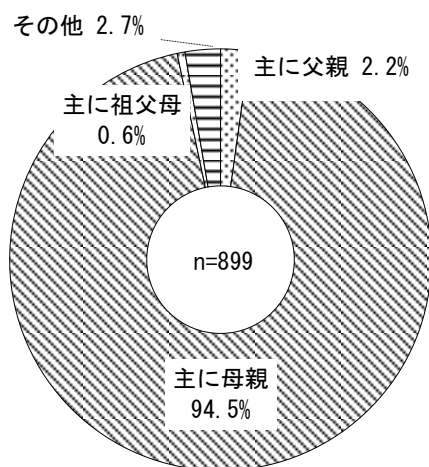


(5) 世帯構成／Q 5・6

- ・夫婦と子どもの核家族世帯が80.1%と圧倒的に高く、親と子どもと祖父母の三世帯世帯が12.9%、ひとり親と子どもの核家族世帯は6.8%です。

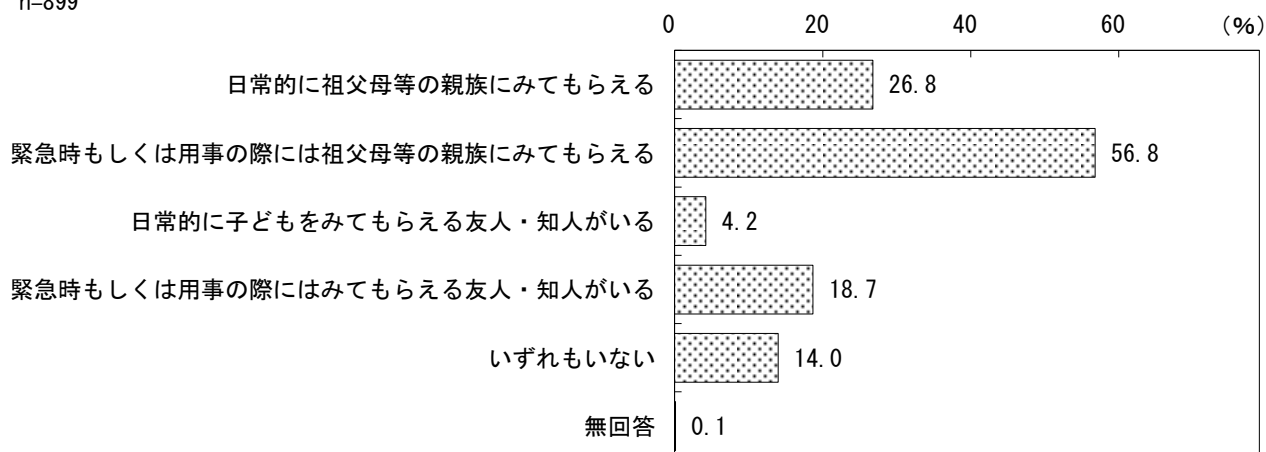


(6) 主に子育てをしている人／Q 7

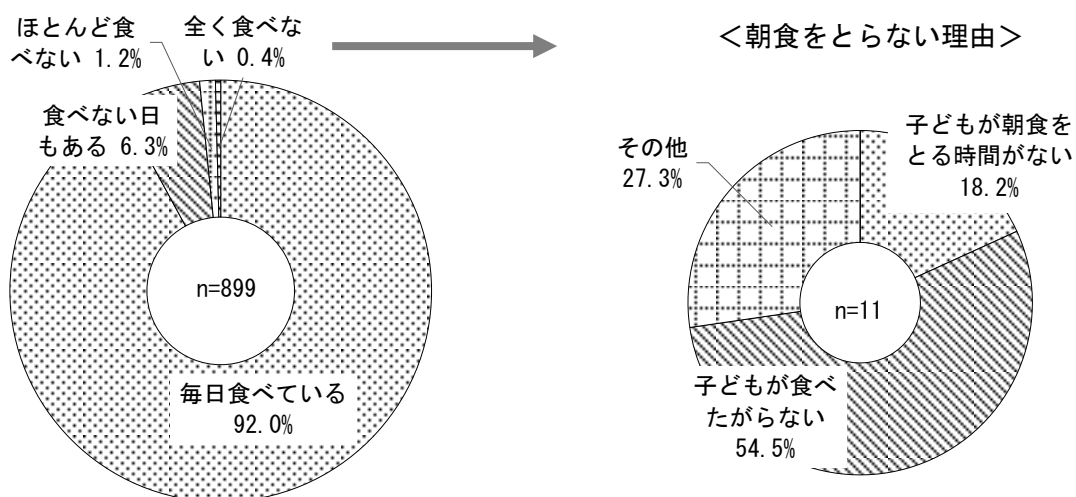


(7) 子どもをみてくれる親族等の有無／Q 8 (複数回答)

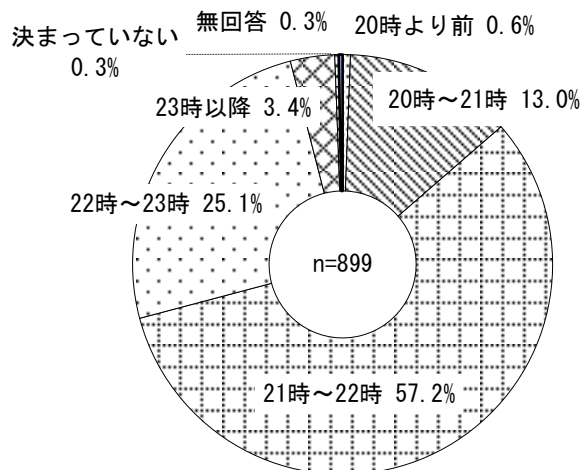
n=899



(8) 朝食の摂取状況／Q9・10

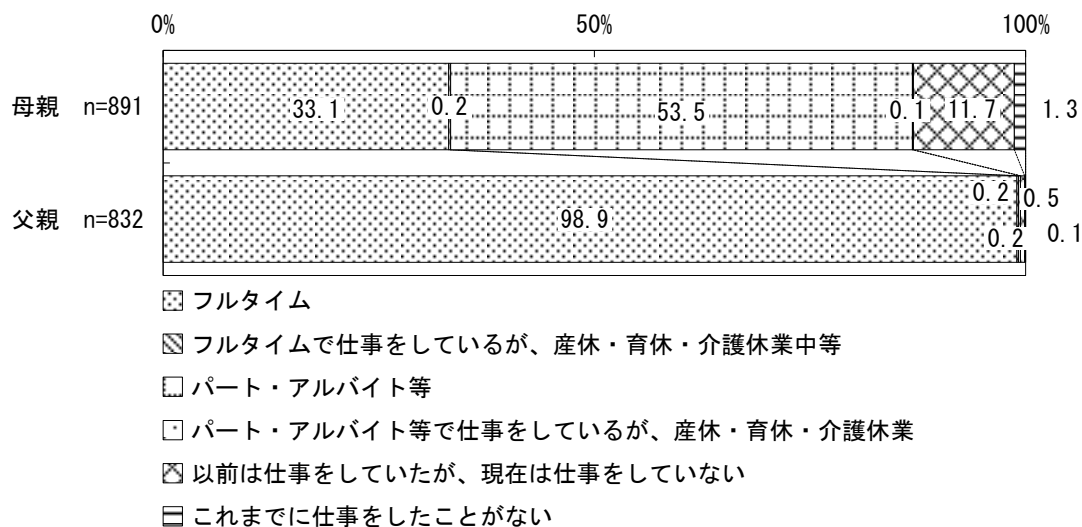


(9) 就寝時刻／Q11



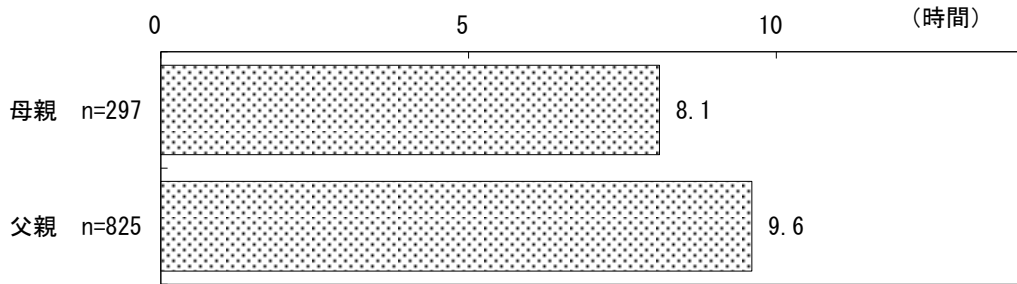
(10) 保護者の就業状況／Q12・Q16

・母親は「パート・アルバイト等」が53.5%、「フルタイム」が33.1%となっているのに対し、父親は「フルタイム」が98.9%を占めています。

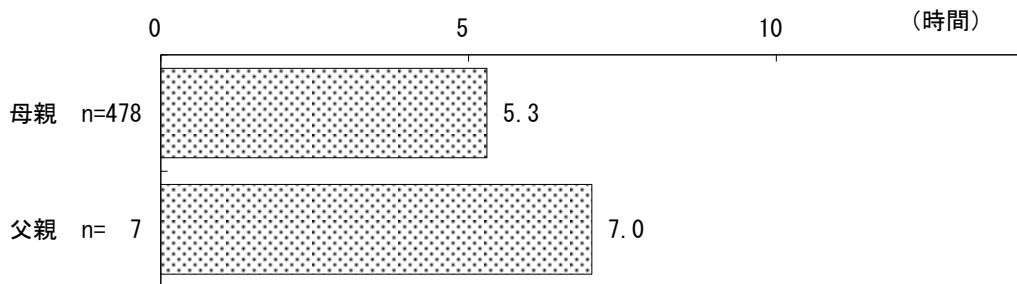


(11) 平均就業時間／Q13・Q17

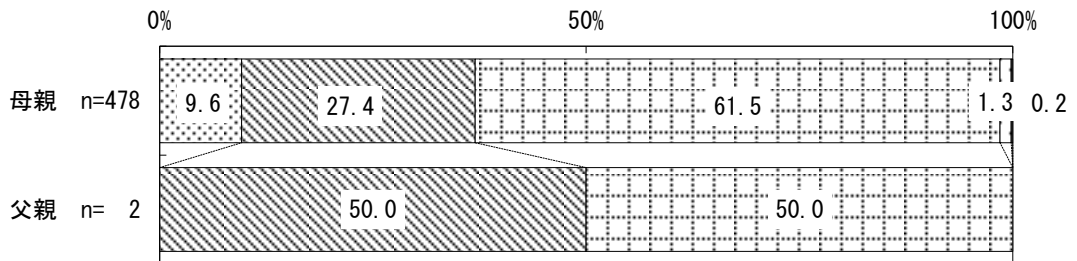
(フルタイム)



(パート・アルバイト等)

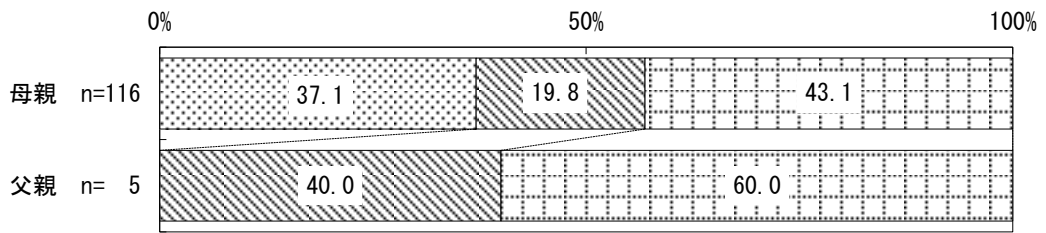


(12) パート・アルバイト等のフルタイムへの転換希望／Q14・Q18



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の仕事を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

(13) 仕事をしていない人の就労希望／Q15・Q19

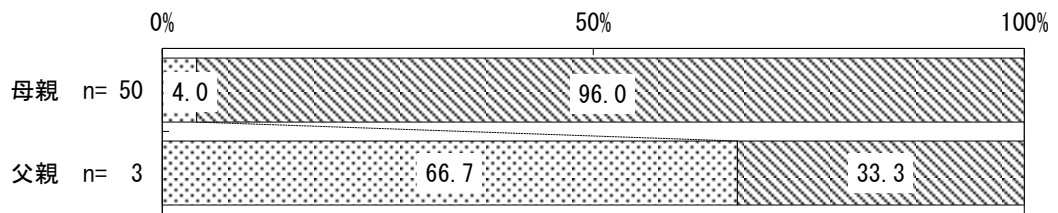


- ☐ 子育てや家事に専念したい (仕事をする予定はない)
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが大きくなったら仕事をしたい
- ▤ すぐにでも、もしくは1年以内に仕事をしたい

<子どもが〇歳になった頃> (%)

母親	1～6歳	7～9歳	10～12歳	13歳以上	無回答
n=23	-	13.0	39.1	43.5	4.3
n= 2	-	50.0	-	50.0	-

<希望する仕事の形態>

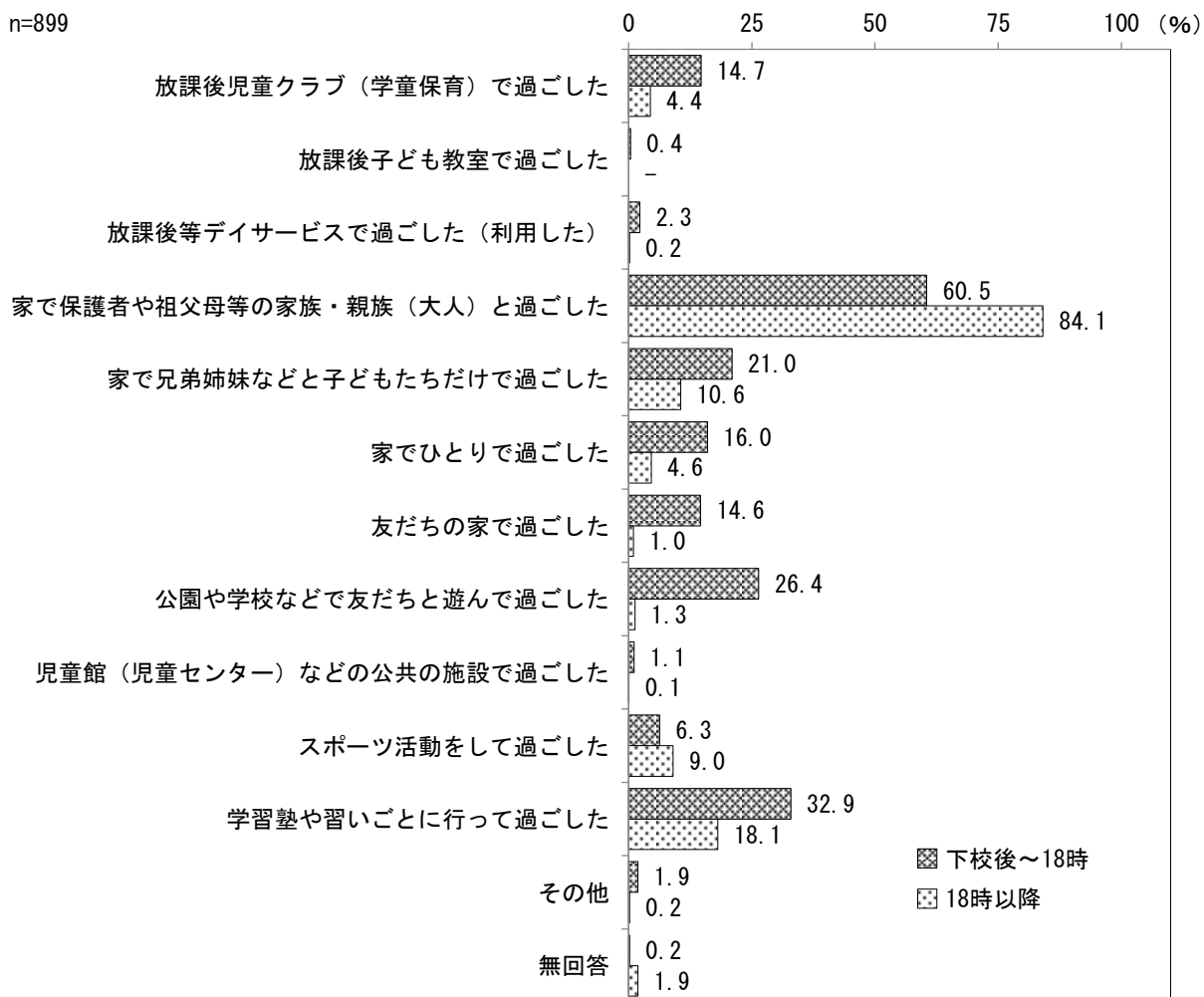


- ▤ フルタイム
- ▨ パート・アルバイト等

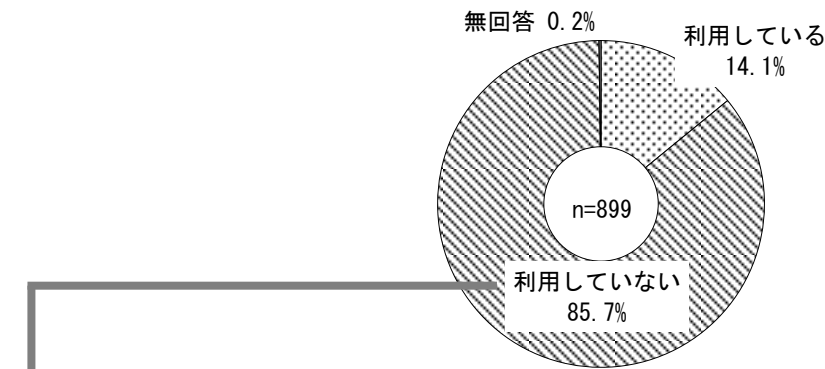


(14) 放課後の過ごし方／Q20

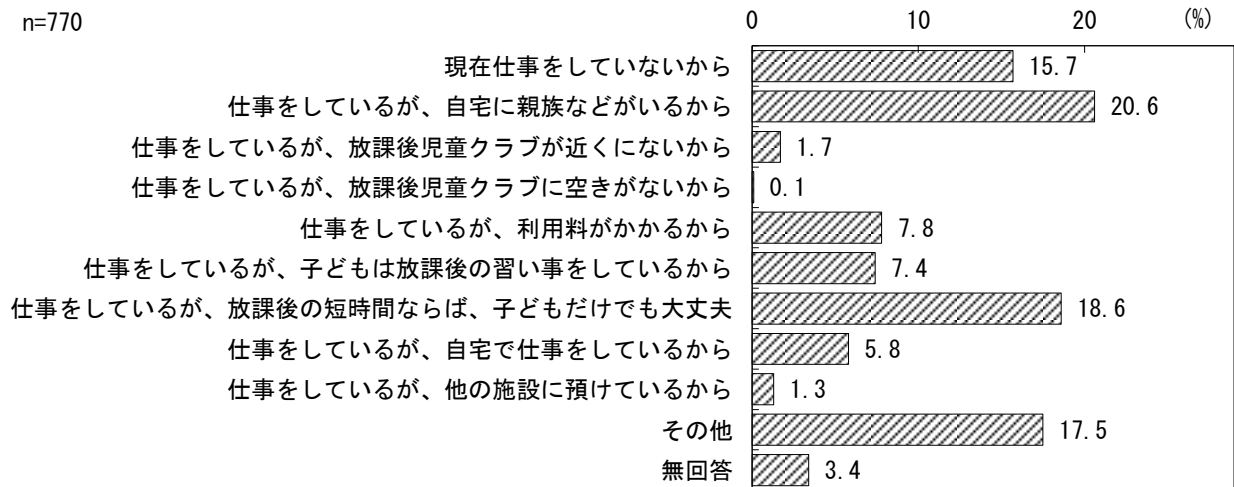
・下校時～18時は「家で～家族・親族（大人）と過ごした」が60.5%、「学習塾や習いごとについて過ごした」が32.9%、「公園や学校などで友達と遊んで過ごした」が26.4%などとなっていますが、18時以降は「家で～家族・親族（大人）と過ごした」が84.1%を占めています。



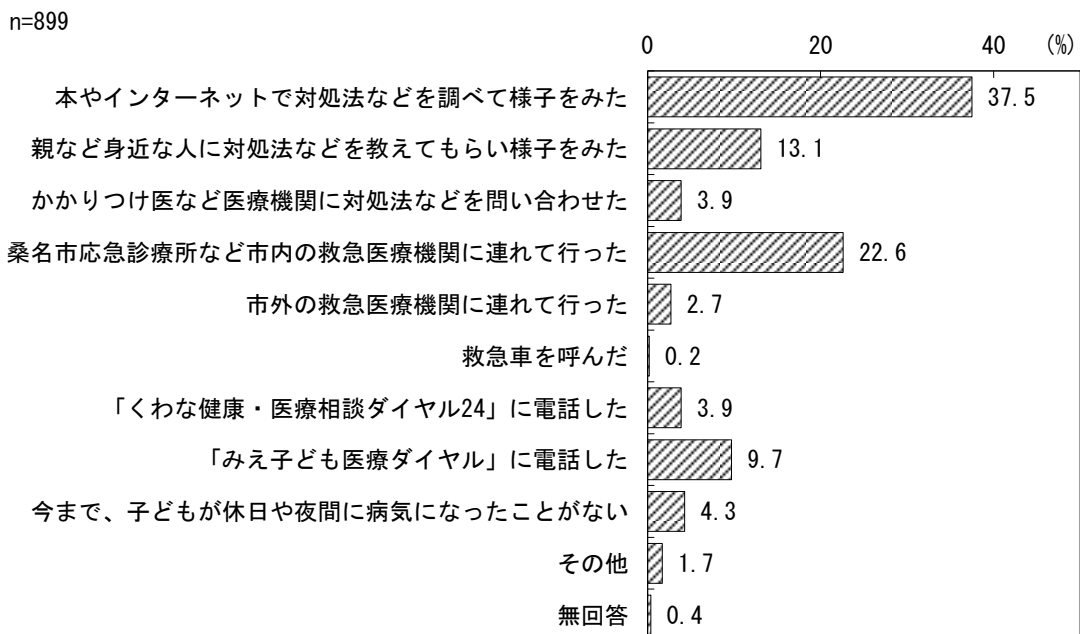
(15) 放課後児童クラブの利用状況／Q21・22



<放課後児童クラブを利用していない理由>

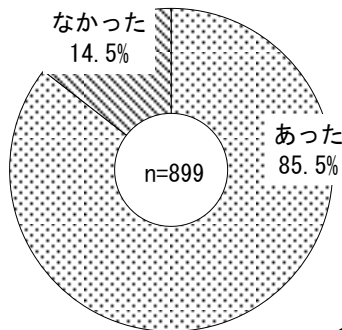


(16) 子どもが休日・夜間に病気になった時の対応／Q23

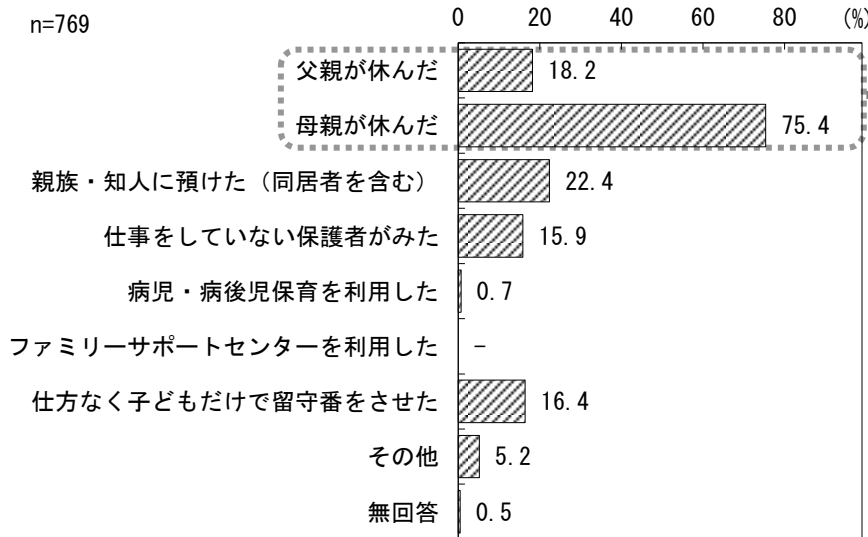


(17) 子どもが病気やケガで学校を休んだことの有無／Q25・26・27

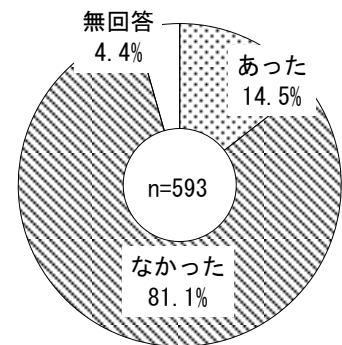
- ・子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」のは85.5%で、その対処法としては、「母親が休んだ」が75.4%と最も高くなっています。



<対処法> (複数回答)

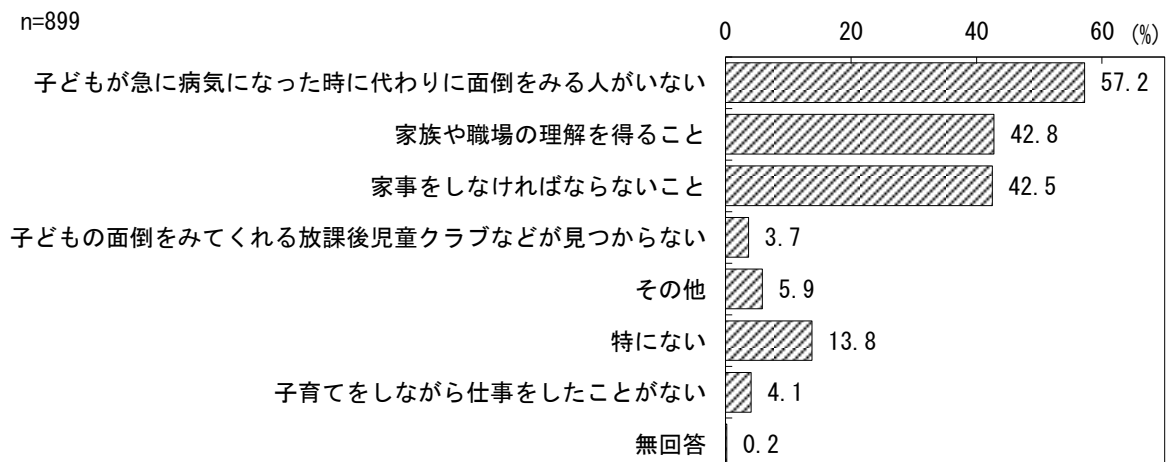


<病児・病後児保育の利用意向 (「利用したいと思われましたか」)>



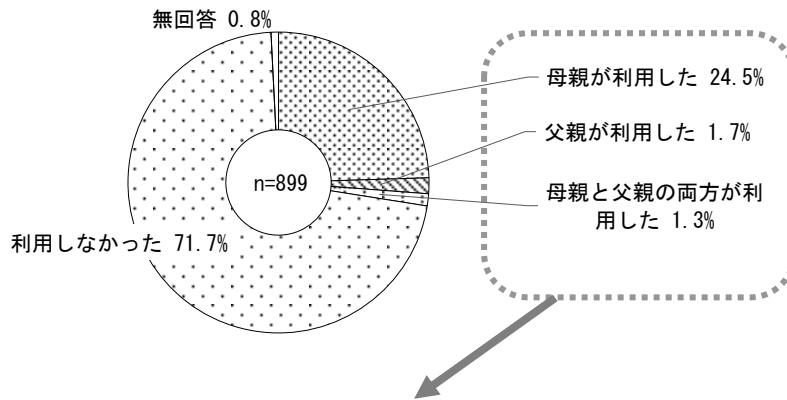
(18) 仕事と子育ての両立が難しいと感じたこと／Q30

- ・両立が難しいと感じたことは、「子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」が57.2%と最も高く、次いで「家事をしなければならないこと」「家族や職場の理解を得ること」などが高くなっています。

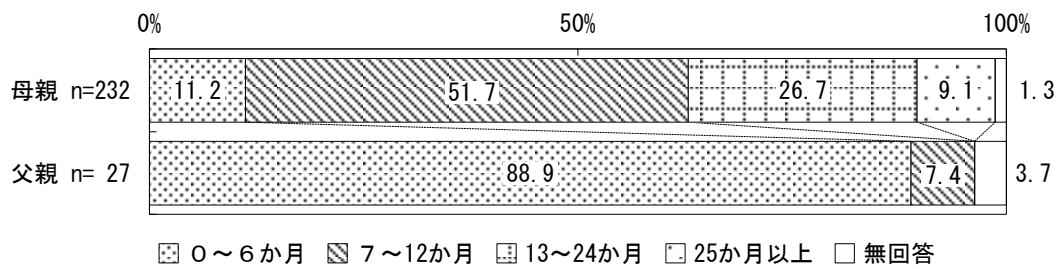


(19) 育児休業の利用状況／Q31

- ・育児休業の利用状況をみると、「母親が利用した」は24.5%、「父親が利用した」は1.7%、「母親と父親の両方が利用した」は1.3%です。



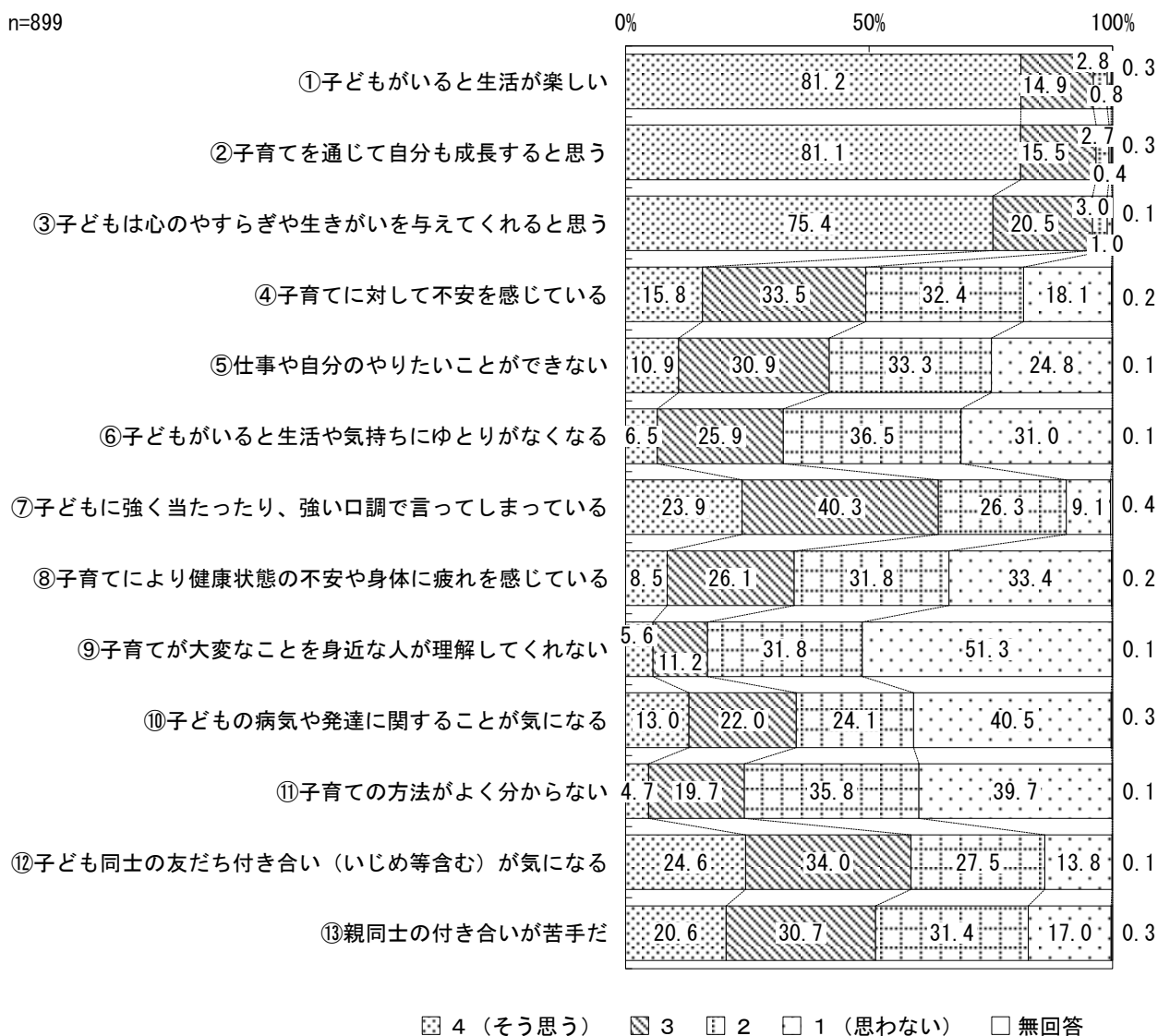
<育児休業の期間>



(20) 子育てについて感じていること／Q32

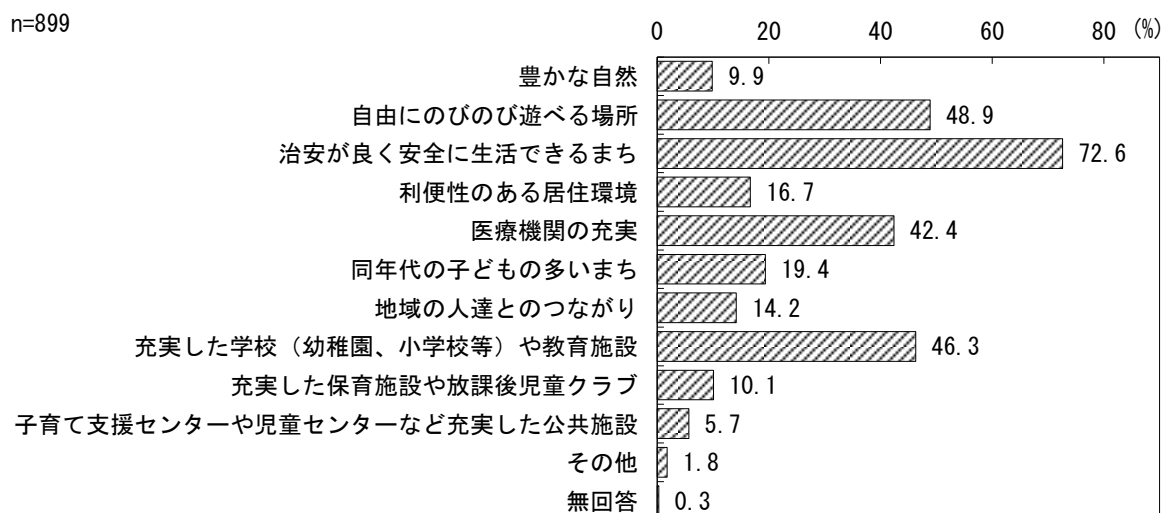
・就学前の子どもの保護者の調査結果と同様に、①～③について「4（そう思う）」が75%を超えており、子どもの存在が自分の人生や生活に対してプラスに働いていると感じている人が多いことがわかります。また、④以降についても、「3」が30%を超えている項目が多く、年齢にかかわらず、多くの親が不安や悩みを抱えながら子育てをしていることがわかります。

n=899



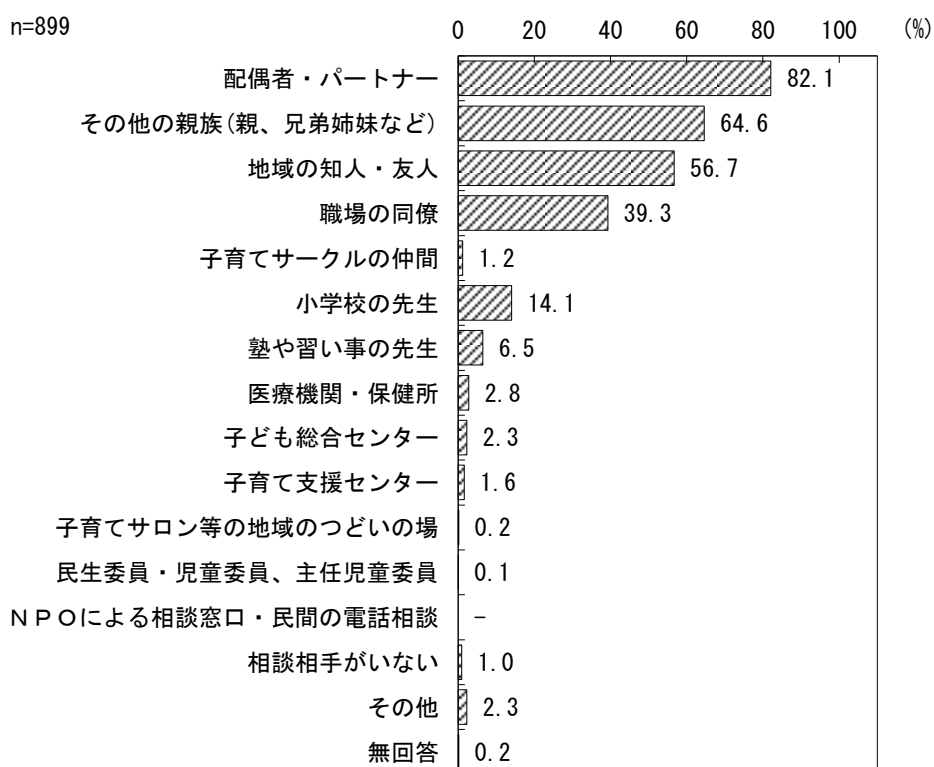
(21) 子どもを育てる環境として重要だと思うこと／Q33(複数回答)

・子どもを育てる環境として重要だと思うこととしては「治安がよく安全に生活できるまち」が最も高く、次いで「自由にのびのび遊べる場所」「充実した学校（幼稚園、小学校等）や教育施設」「医療機関の充実」等が高くなっています。



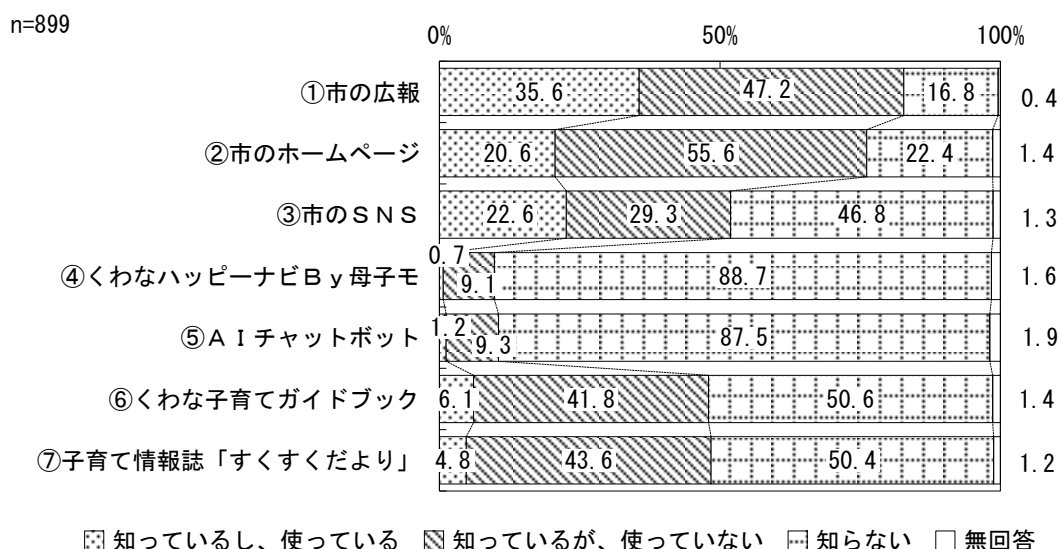
(22) 子育てに関する悩みや不安の相談相手／Q34(複数回答)

・相談相手は、「配偶者・パートナー」「その他の親族（親、きょうだいなど）」など身近な人が高くなっています。



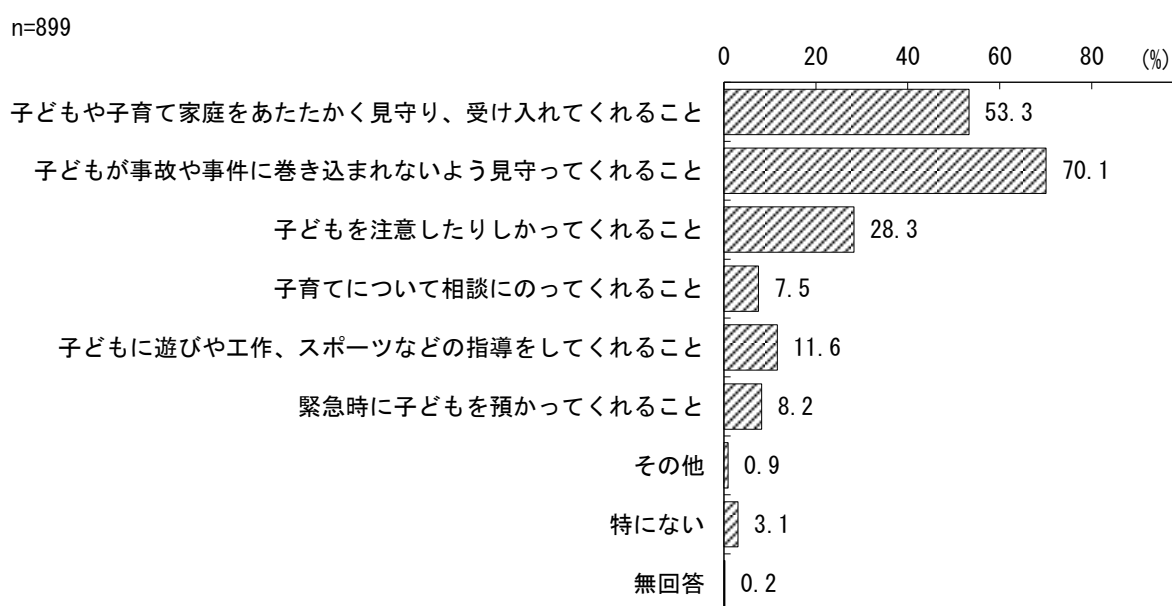
(23) 子育てに関する情報発信の認知度／Q35

・子育てに関する情報発信の認知度について、「知っているし、使っている」が最も高いのは、①市の広報で35.6%、次いで③市のSNSおよび②市のホームページが20%台となっています。



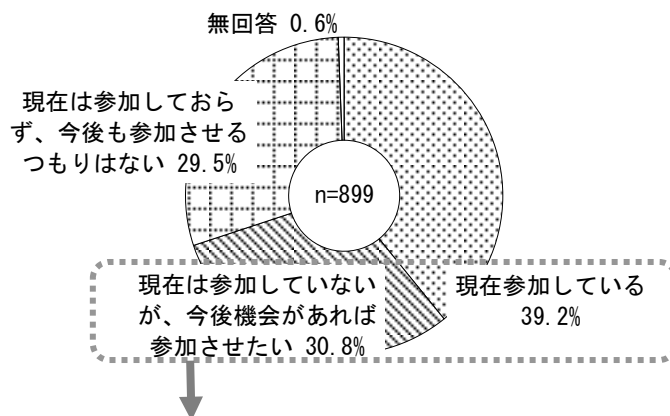
(24) 子育てに関して地域に望むこと／Q36(複数回答)

・子育てに関して地域に望むこととしては「子どもが事故や事件に巻き込まれないよう見守ってくれること」が70.1%と最も高く、次いで「子どもや子育て家庭をあたたかく見守り、受け入れてくれること」が53.3%となっています。



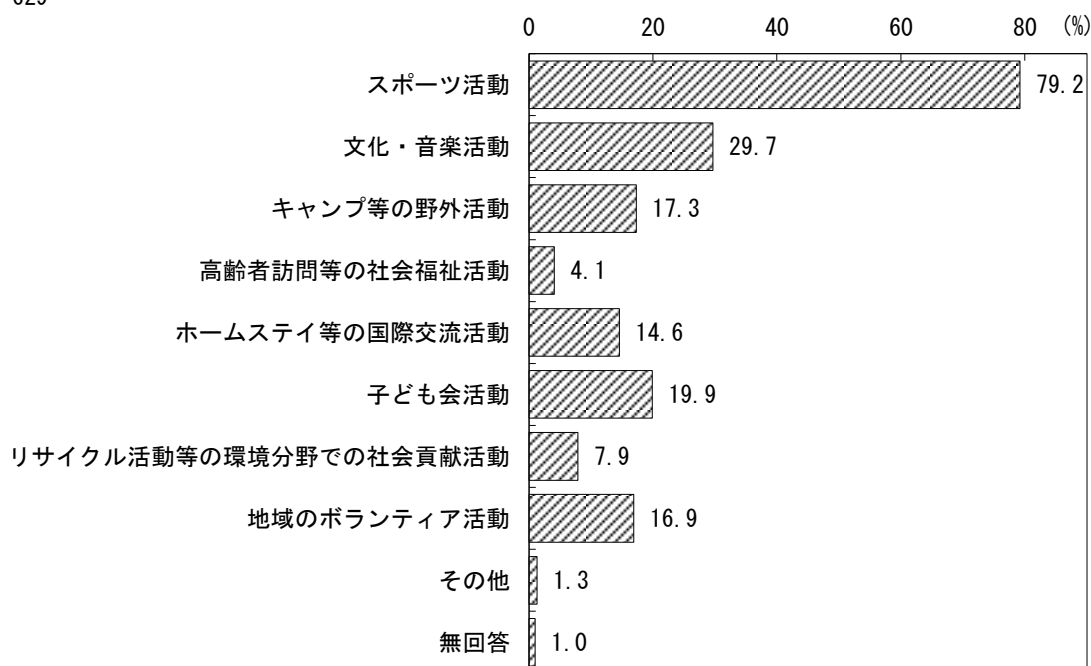
(25) 地域活動などグループ活動への参加状況／Q41・42

- ・子どもの地域活動やスポーツなどグループ活動への参加状況は、「現在参加している」が39.2%ですが、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が30.8%あります。
- ・「現在参加している」または「今後参加させたい」活動は、「スポーツ活動」が最も高くなっています。



<参加している活動・参加させたい活動> (複数回答)

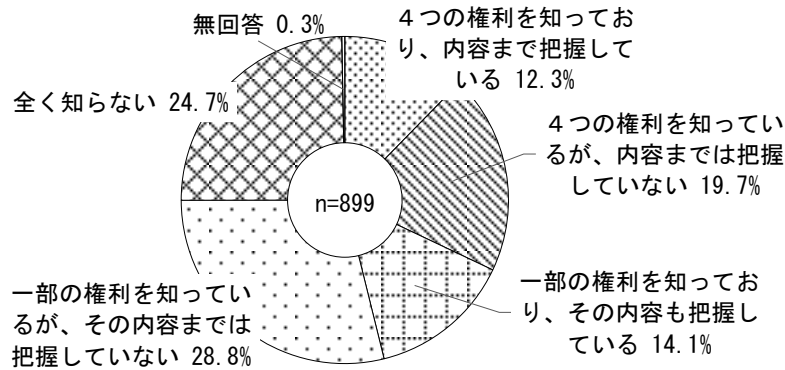
n=629





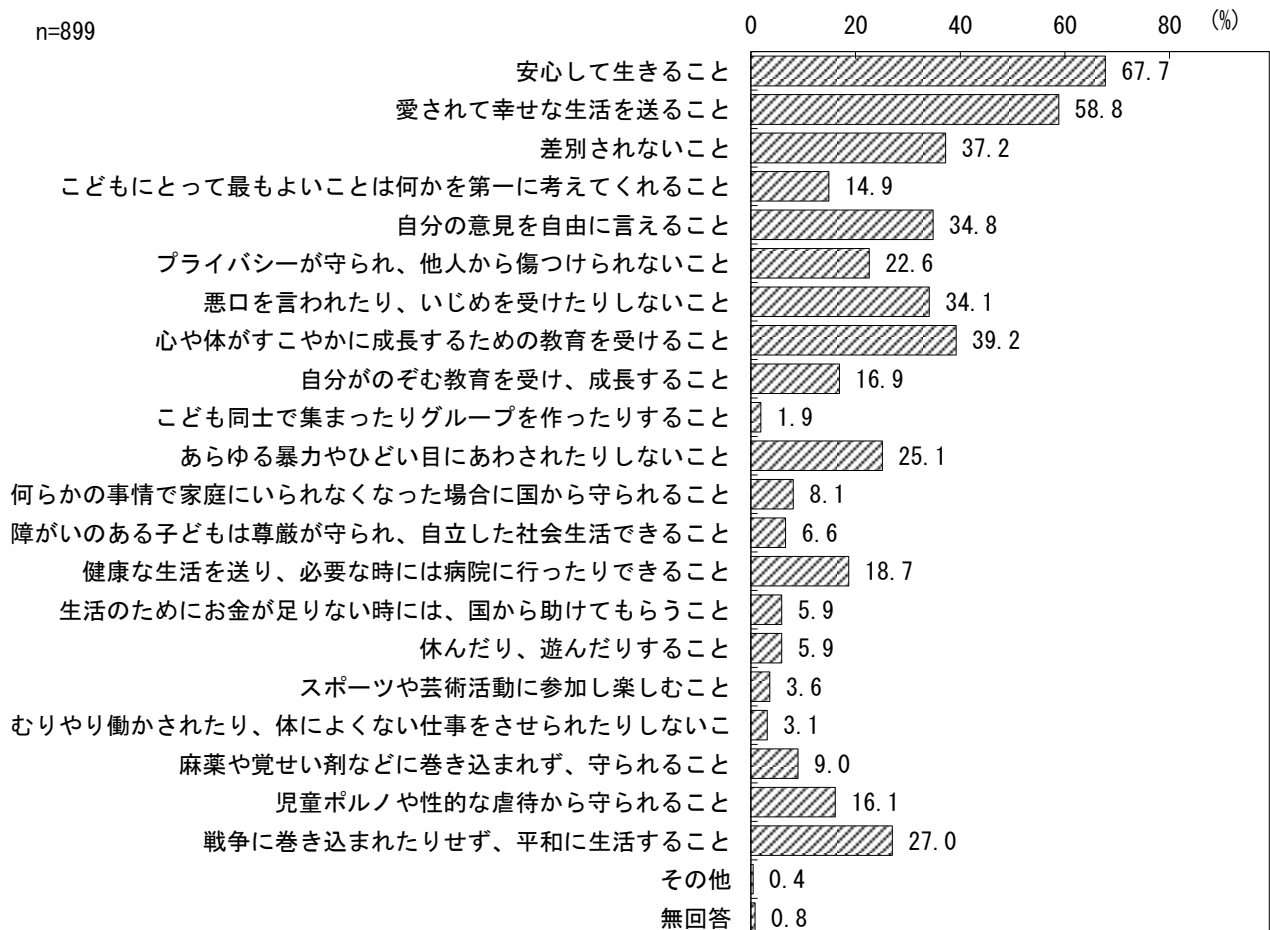
(26) 子ども権利条約に基づく4つの権利の認知度／Q39

- ・子ども権利条約に定められている4つの権利の認知度は、「一部の権利を知っているが、その内容までは把握していない」が28.8%、「全く知らない」が24.7%、「4つの権利を知っているが、内容までは把握していない」が19.7%などとなっています。



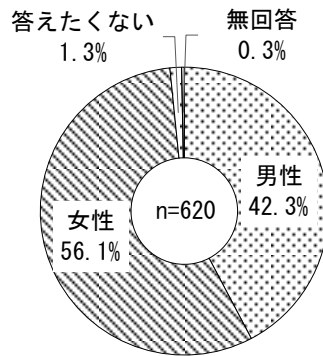
(27) 特に大切にしなければならない権利／Q40(複数回答)

- ・特に大切にしなければならないと思う子どもの権利については、「安心して生きること」が67.7%と最も高く、次いで「愛されて幸せな生活を送ること」が58.8%となっています。

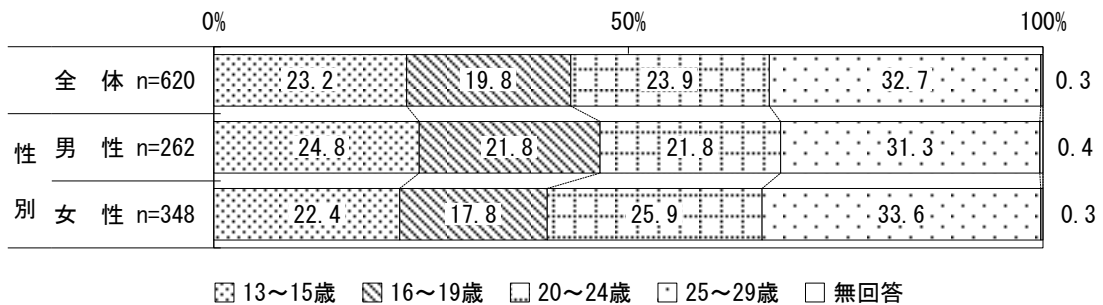


### Ⅲ 子ども・若者の生活実態・意識調査（13～29歳）結果のまとめ

(1) 性別／問1



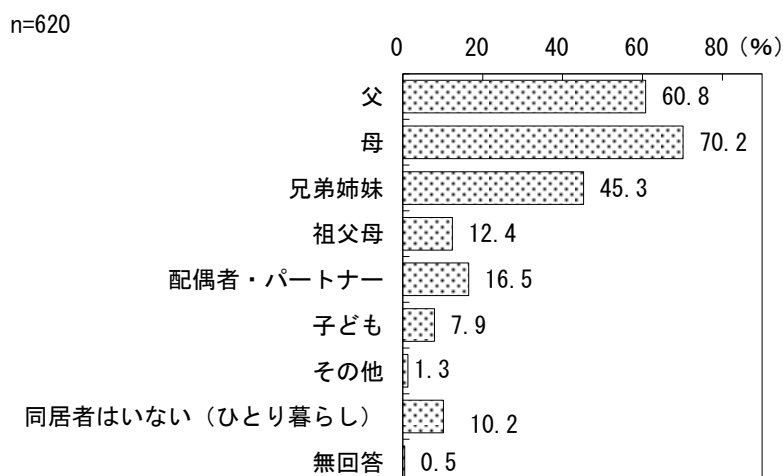
(2) 年齢／問2



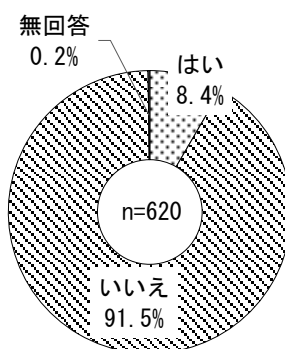
(3) 居住地区（小学校区）／問3

地区	日進	精義	立教	城東	益世	修徳	大成	桑部	在良	七和	久米	深谷	城南
%	4.0	2.6	1.5	0.2	6.0	4.0	4.7	5.3	4.2	4.7	3.5	2.3	6.1
地区	大和	大山田東	大山田北	大山田西	大山田南	藤が丘	星見ヶ丘	多度東	多度中	多度北	多度青葉	長島北部	長島中部
%	1.5	10.0	4.7	1.5	1.9	4.2	5.8	0.8	4.5	0.3	0.6	2.3	5.0
地区	伊曽島	答えわからず 無回答	全体										
%	2.1	5.8	n=620										

(4) 同居者／問4 (複数回答)

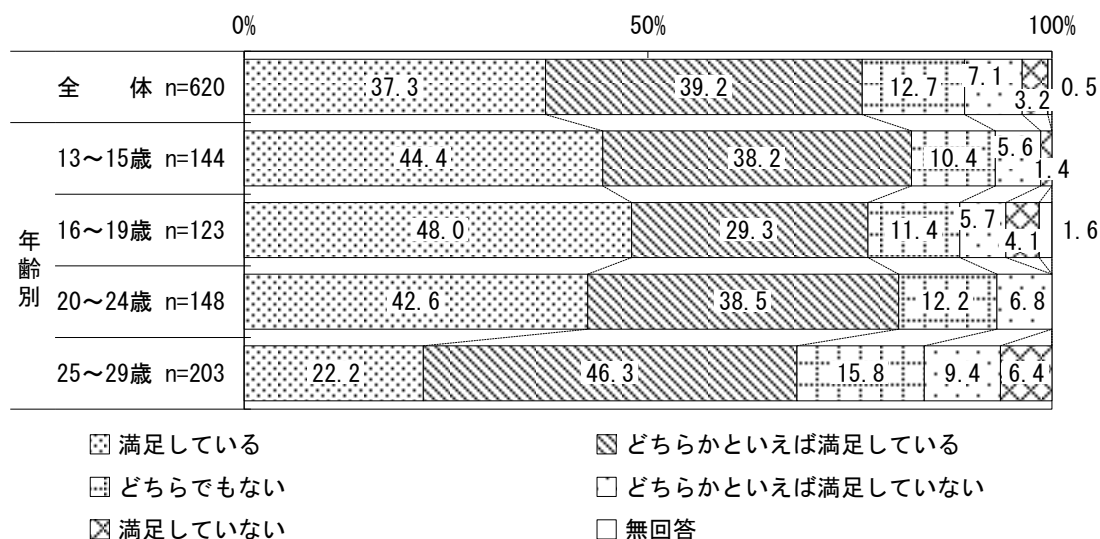


(5) 子育てをしているか／問5



(6) 現在の生活に満足しているか／問6

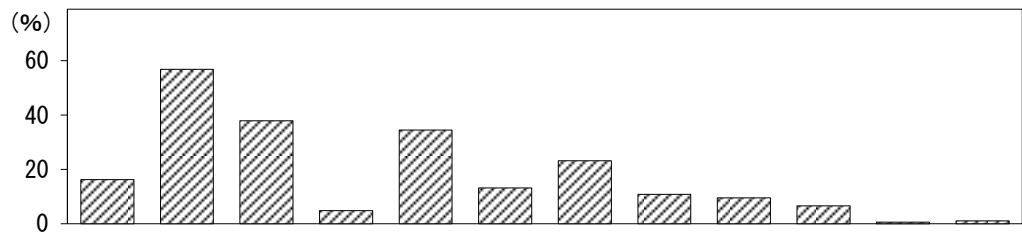
・現在の生活に満足しているかについて、24歳未満では「満足している」が40%を超えています。25～29歳では20%台となり、「満足していない」および「どちらかといえば満足していない」が他の年齢層に比べ高くなっています。



(7) 満足していること・不満に思っていること／問7(複数回答)

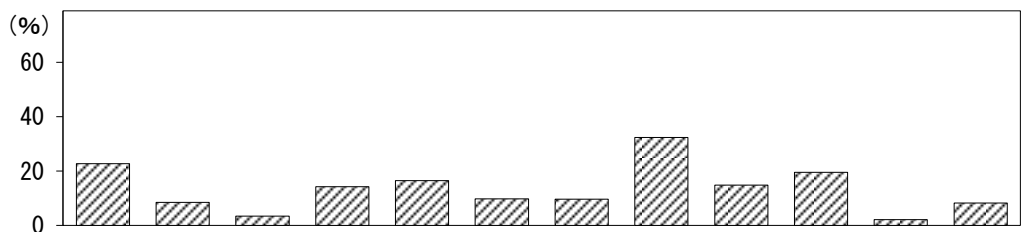
- ・現在の生活で満足していることは、各年齢層とも「趣味のこと」が最も高く、次いで、10代では「学校のこと」、20～24歳では「人間関係のこと」、25～29歳では「家庭のこと」が高くなっています。
- ・不満に思っていることは、10代では「人間関係のこと」、20代では「経済面のこと」が最も高くなっています。

<満足していること>



区分	n	仕事のこと	趣味のこと	家庭のこと	子育てのこと	人間関係のこと	勉強のこと	学校のこと	経済面のこと	進学・就職のこと	わからない	その他	無回答
全体	620	16.3	56.9	37.9	4.8	34.5	13.2	23.2	10.8	9.5	6.6	0.6	1.0
13～15歳	144	-	64.6	36.8	1.4	41.7	24.3	49.3	6.3	8.3	6.9	1.4	-
16～19歳	123	6.5	52.8	34.1	0.8	30.1	15.4	36.6	9.8	18.7	8.9	0.8	-
20～24歳	148	21.6	63.5	32.4	2.7	35.8	14.9	16.9	14.2	12.2	6.1	0.7	1.4
25～29歳	203	30.0	49.8	44.8	11.3	31.0	3.0	1.5	12.3	3.0	5.4	-	1.5

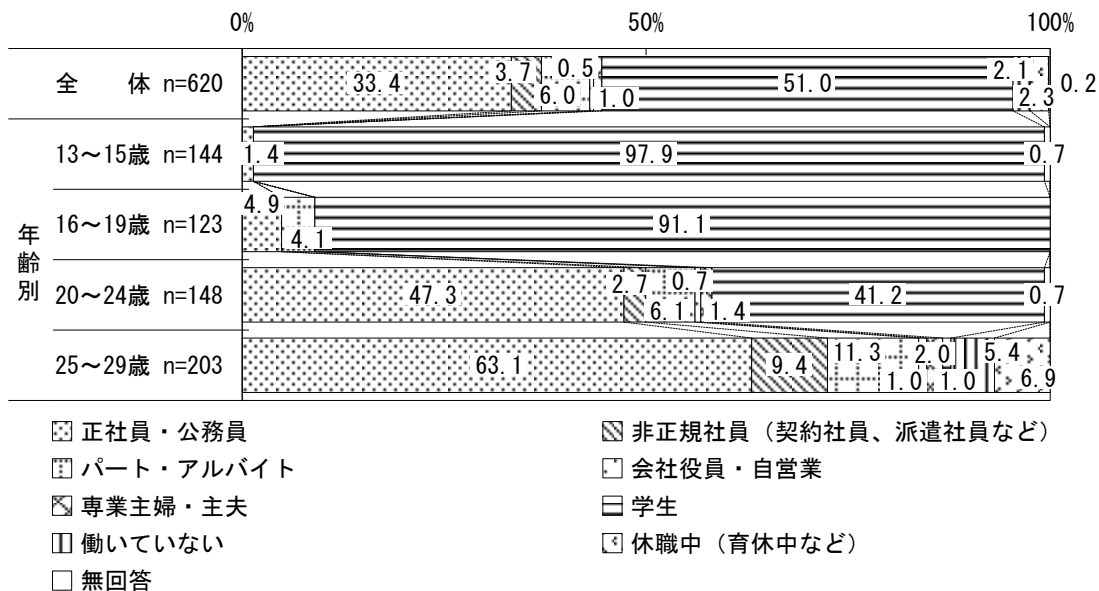
<不満に思っていること>



区分	n	仕事のこと	趣味のこと	家庭のこと	子育てのこと	人間関係のこと	勉強のこと	学校のこと	経済面のこと	進学・就職のこと	わからない	その他	無回答
全体	620	22.7	8.5	3.4	14.2	16.5	9.8	9.7	32.4	14.8	19.5	2.1	8.2
13～15歳	144	0.7	8.3	-	13.9	36.8	18.1	7.6	9.0	22.9	22.9	2.1	11.8
16～19歳	123	2.4	7.3	1.6	17.1	28.5	24.4	5.7	22.0	23.6	28.5	0.8	9.8
20～24歳	148	29.1	7.4	2.7	14.2	6.8	2.0	10.1	36.5	15.5	22.3	2.7	6.1
25～29歳	203	46.3	10.3	7.4	12.8	2.0	1.0	13.3	52.2	3.4	9.9	2.5	5.9

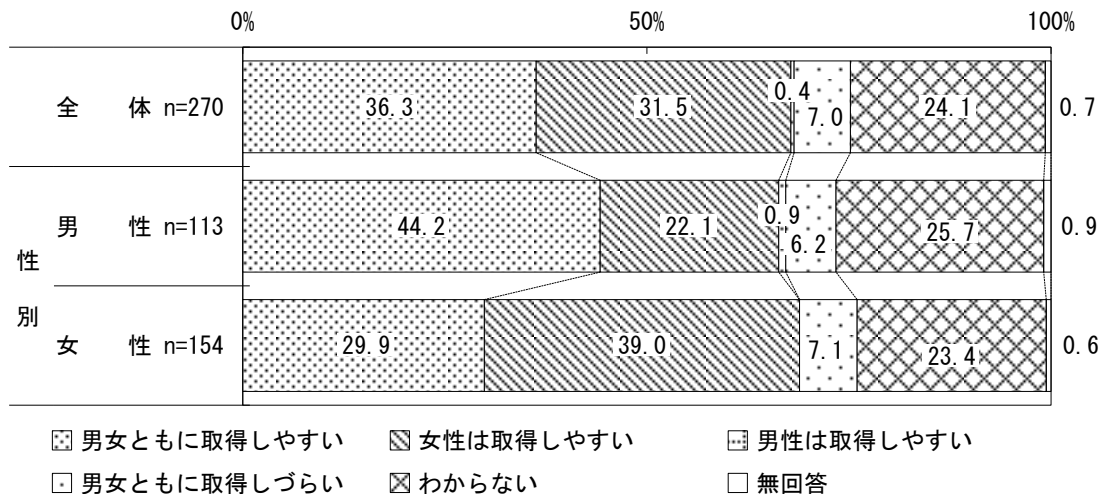
(8) 就労・就学等の状況／問8

- ・就労・就学等の状況をみると、10代では「学生」が90%以上を占め、20～24歳では「正社員・公務員」および「学生」が40%台、25～29歳では「正社員・公務員」が60%以上を占めています。



(9) 産休・育休を取得しやすいか／問9

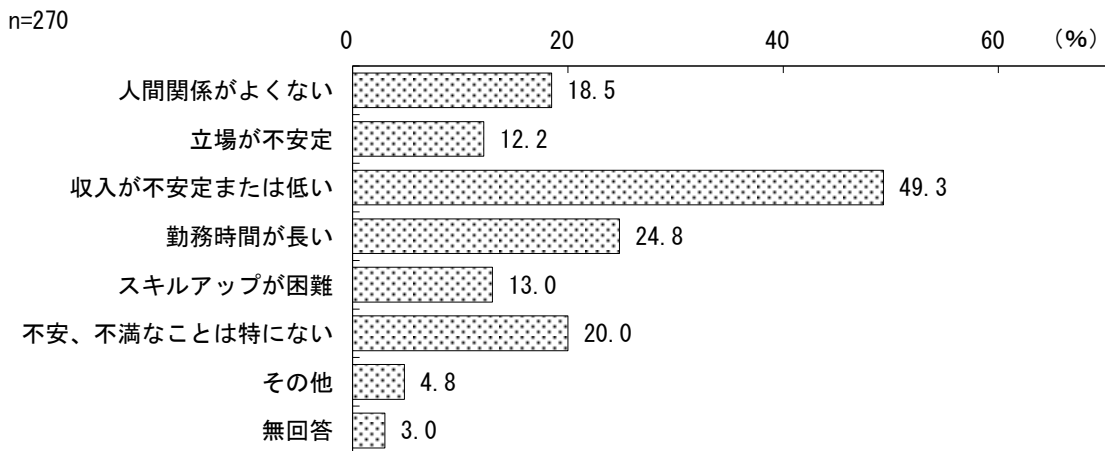
- ・現在仕事をしている人に、職場は産前産後休業や育児休業を取得しやすいかお聞きしたところ、「男女ともに取得しやすい」が36.3%と最も高く、次いで「女性は取得しやすい」が31.5%などとなっています。
- ・性別にみると、男性は「男女ともに取得しやすい」が、女性は「女性は取得しやすい」が最も高くなっています。



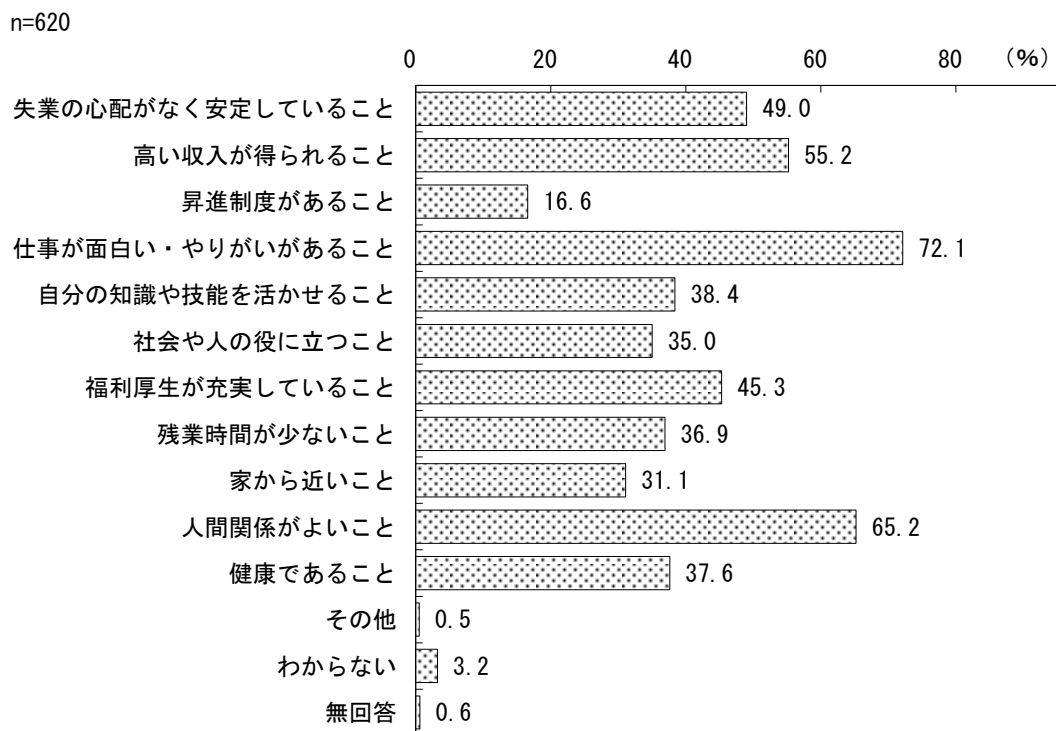
(10) 働くことについて／問 10・11・12(複数回答)

- ・現在仕事をしている人に、就労に関する不安、不満についてお聞きしたところ、「収入が不安定または低い」が49.3%と最も高くなっています。
- ・働く上で重要だと考えることとしては、「仕事が面白い・やりがいがあること」および「人間関係がよいこと」が高くなっています。
- ・働くため（働き続けるため）に必要な支援については、「仕事に役立つ技能・資格の支援」および「資格取得のための経済的支援」が高くなっています。

<就労に関する不安、不満>

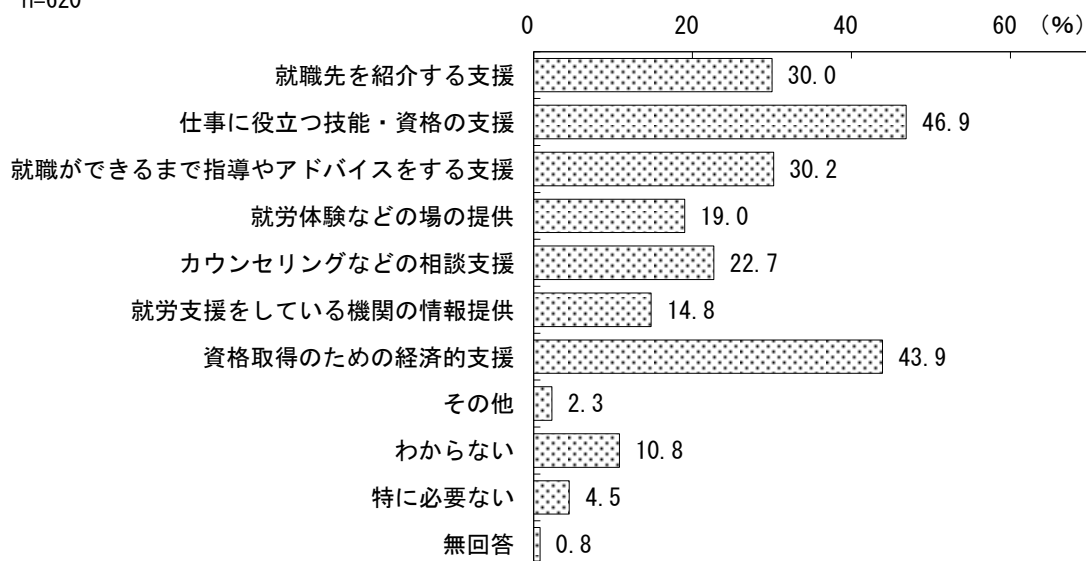


<働く上で重要だと考えること>



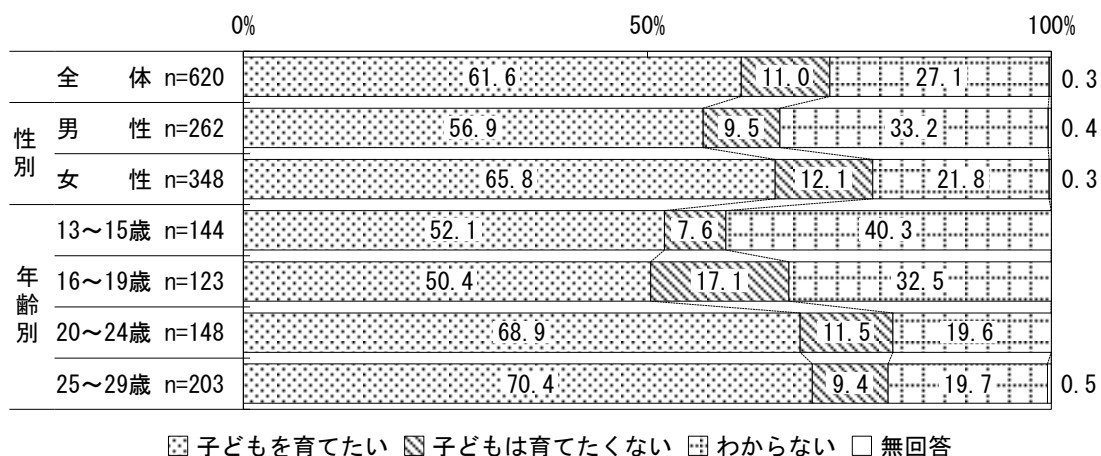
<働くため（働き続けるため）に必要な支援>

n=620

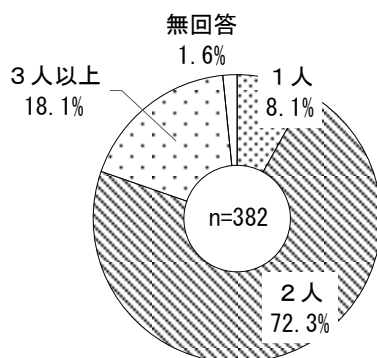


(11) 子どもを育てたいか／問 13

・子どもを育てたいかについては、60%以上が「子どもを育てたい」と回答しています。「子どもを育てたい」は男性より女性が高く、年齢では25～29歳では70%を超えています。



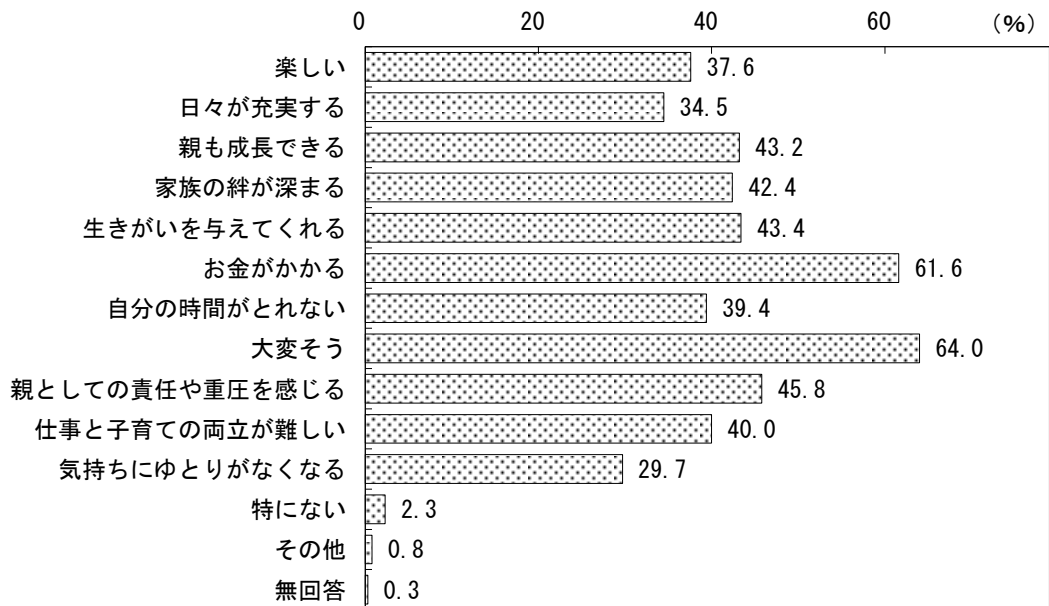
<育てたい子どもの人数>



(12) 子育てに関するイメージ／問 14(複数回答)

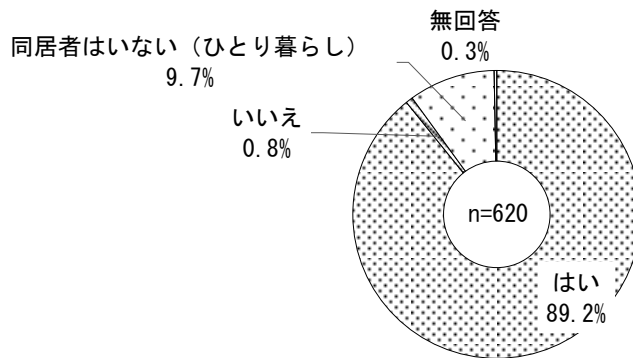
- ・子育てに関するイメージについては、「大変そう」および「お金がかかる」が高くなっています。

n=620



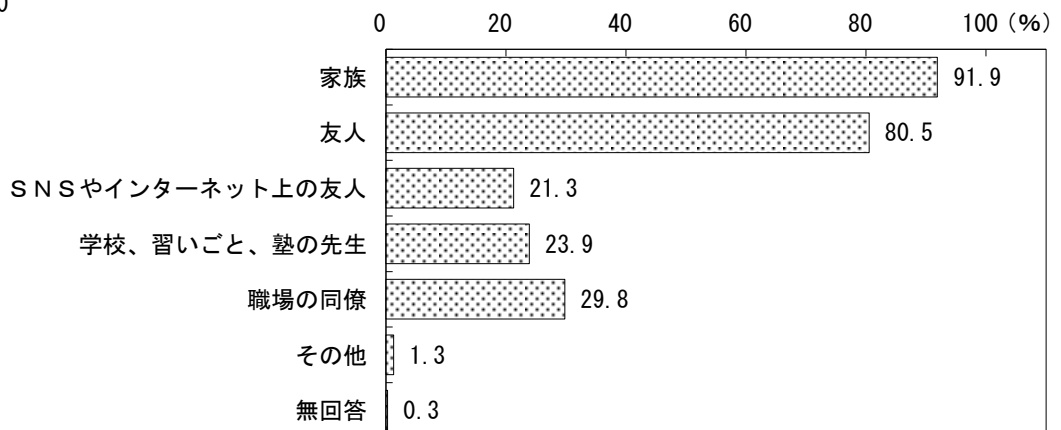
(13) コミュニケーション／問 15・16

- ・同居者とのコミュニケーションについては、90%近くがとっていると回答しています。



<普段、誰とコミュニケーションをとっているか> (複数回答)

n=620

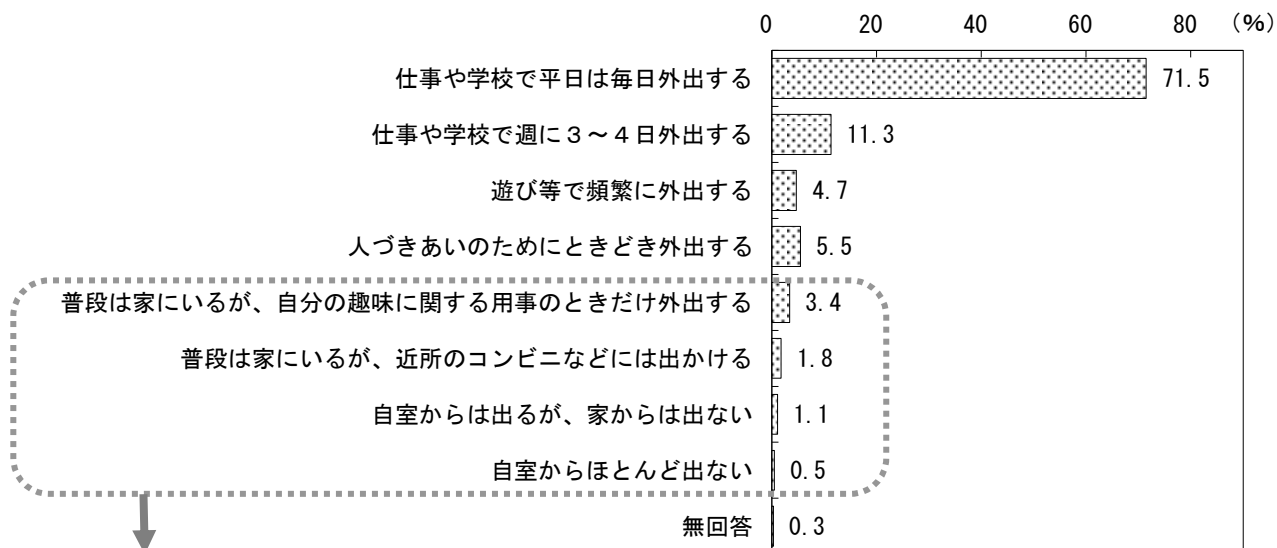




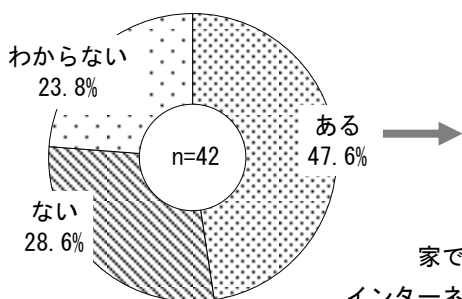
(14) 外出頻度／問 17・18

- ・70%以上の方が「仕事や学校で平日は毎日外出する」と回答していますが、普段あまり外出しない人が6.8%あります。
- ・外出しなくなったきっかけは、「妊娠・出産・子育てのこと」や「自分の健康こと」などがあげられています。

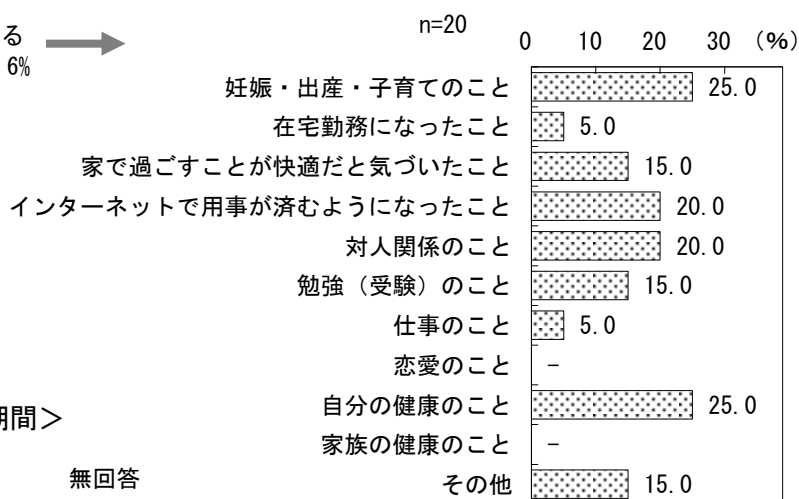
n=620



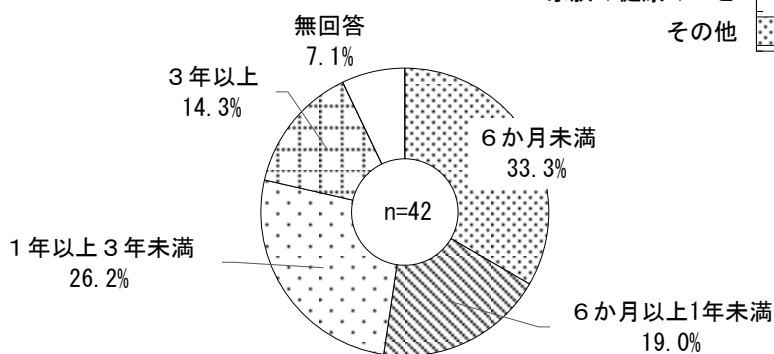
<外出しなくなったきっかけはあるか>



<外出しなくなったきっかけ> (複数回答)



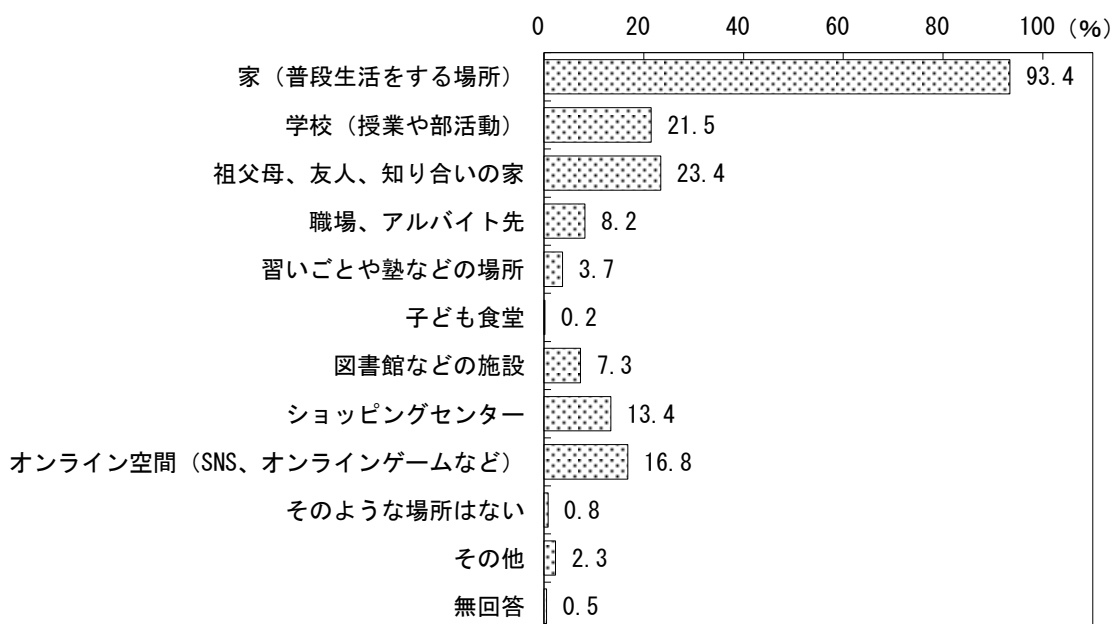
<外出をしなくなってからの期間>



(15) 居場所／問 19・20(複数回答)

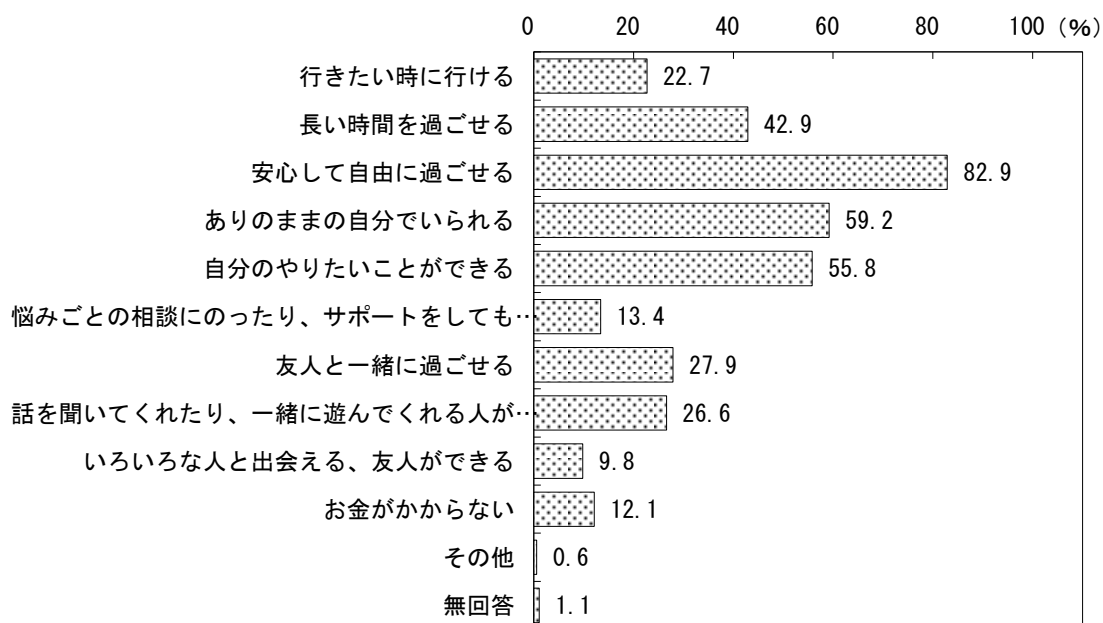
- ・ 普段、「ここに居たい」と感じる居場所としては、「家（普段生活する場所）」が93.4%と圧倒的に高くなっています。次いで、「祖父母、友人、知り合いの家」「学校（授業や部活動）」に続き「オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど）」があげられています。

n=620



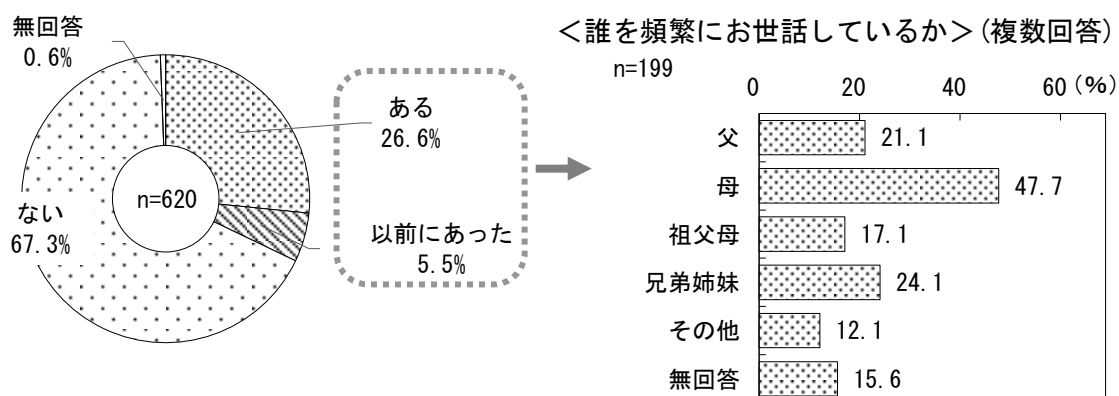
<上記を居場所として選んだ理由>

n=620



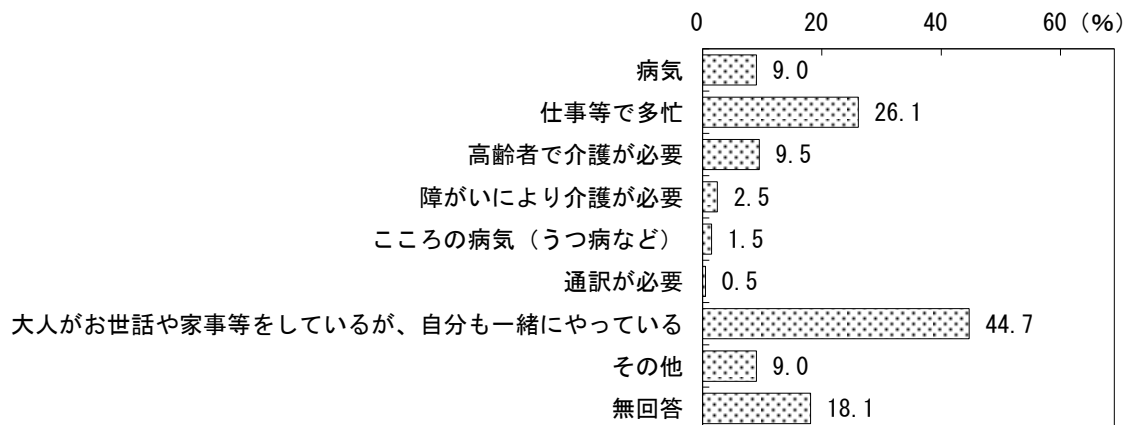
(16) 家族のケア・家事／問 21・22

- ・頻繁に家族のお世話や、大人に代わって家事等をするかどうかについては、「ある」が26.6%、「以前にあった」が5.5%となっています。
- ・お世話が必要な理由として「大人がお世話や家事等をしているが、自分も一緒にやっている」が44.7%と最も高く、家族と一緒にケア等を行っている場合が多いと思われます。
- ・生活への支障については、「特にない」が68.3%を占めていますが、「友だちと遊ぶ時間が減った」が8.0%、「睡眠時間が削られる」が6.5%などとなっています。



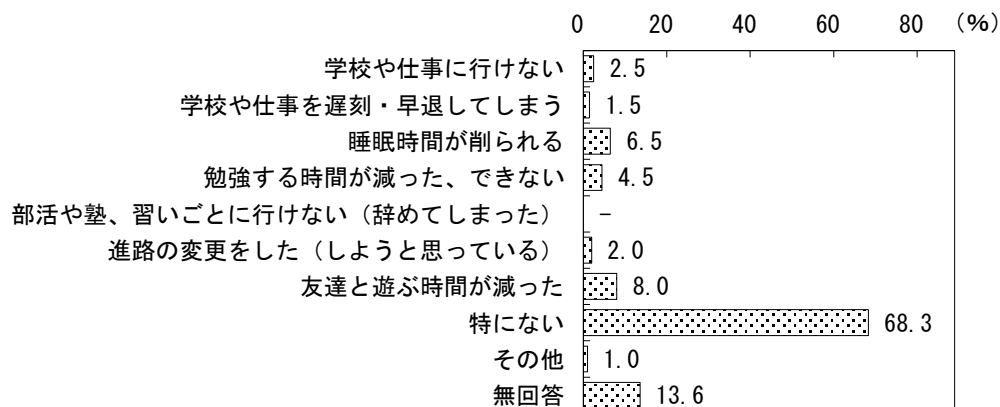
<お世話が必要な理由> (複数回答)

n=199

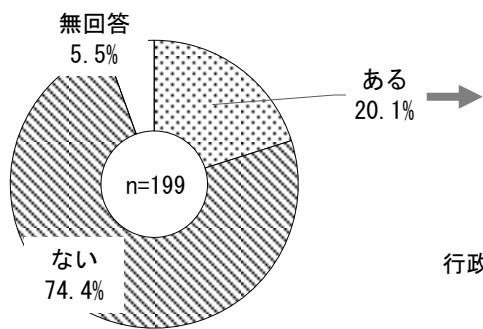


<生活への支障> (複数回答)

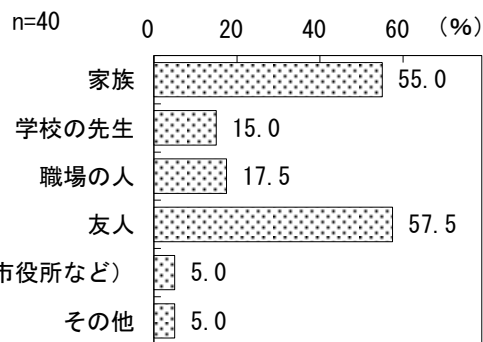
n=199



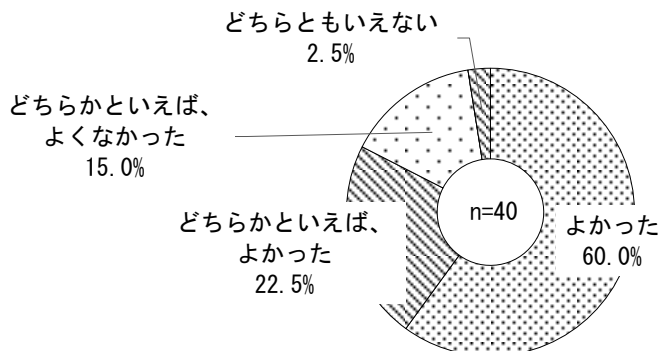
<誰かに相談したことがあるか>



<相談相手> (複数回答)

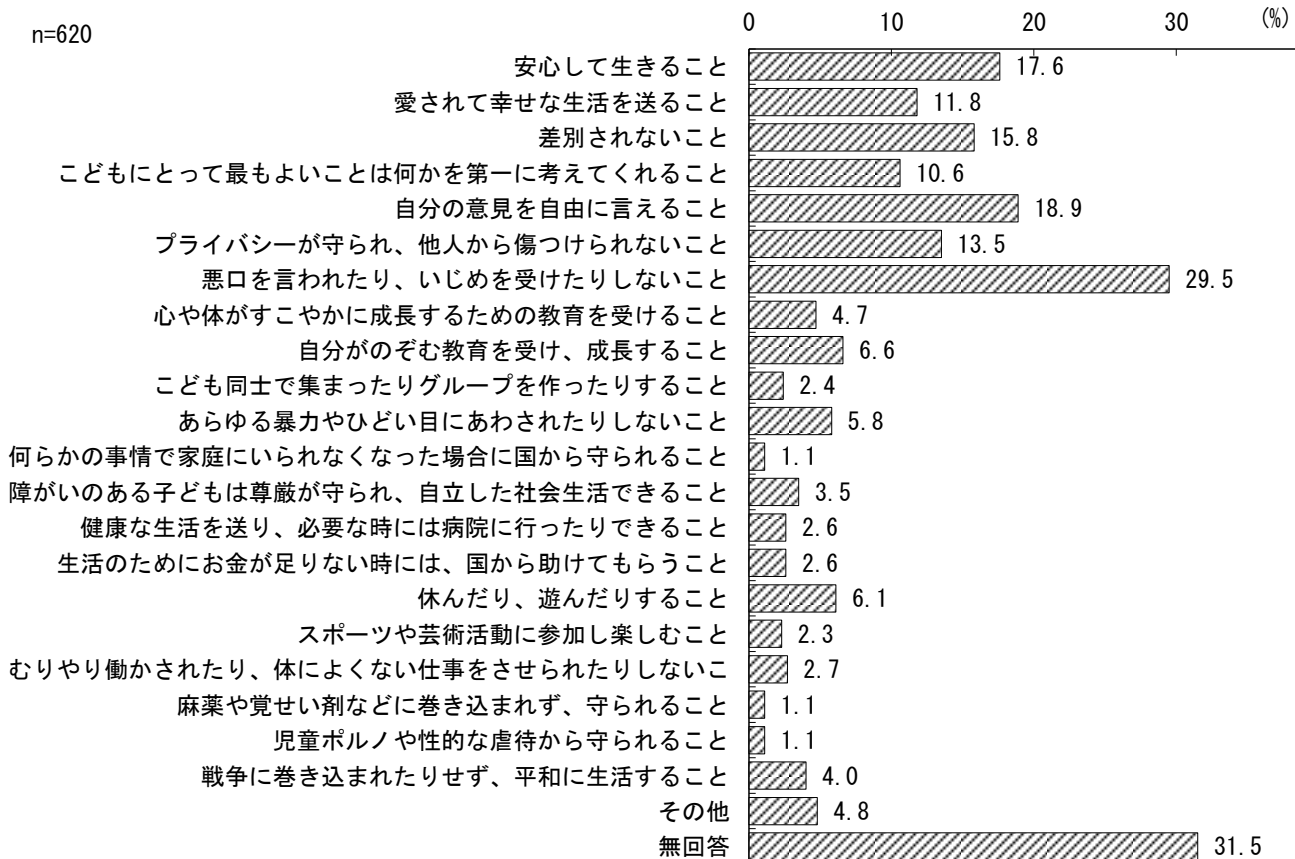


<相談してよかったか>



(17) 過去に侵害された権利/問 23 (複数回答)

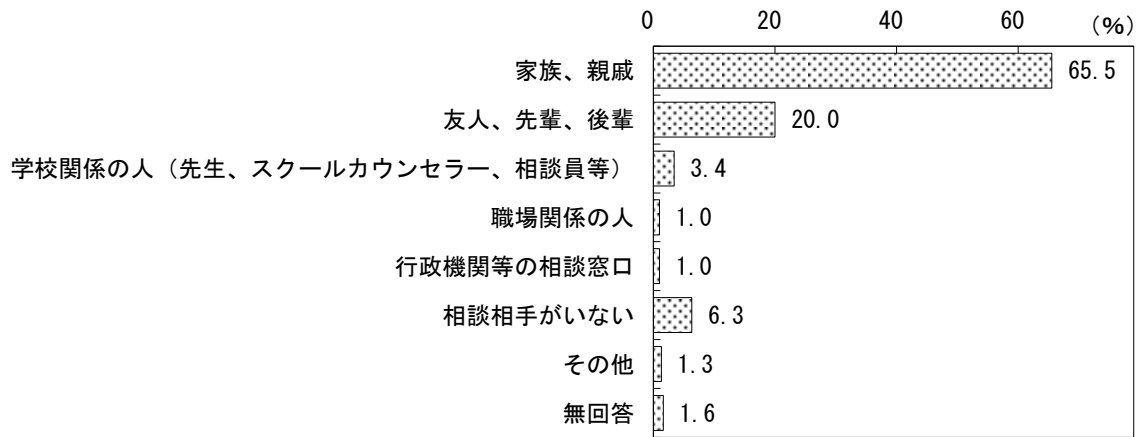
- ・自身が過去に侵害された権利については、「悪口を言われたり、いじめを受けたりしないこと」が29.5%と最も高くなっています。



(18) 子どもの権利が侵害されるようなことが起きた場合に相談しやすい相手／問 24

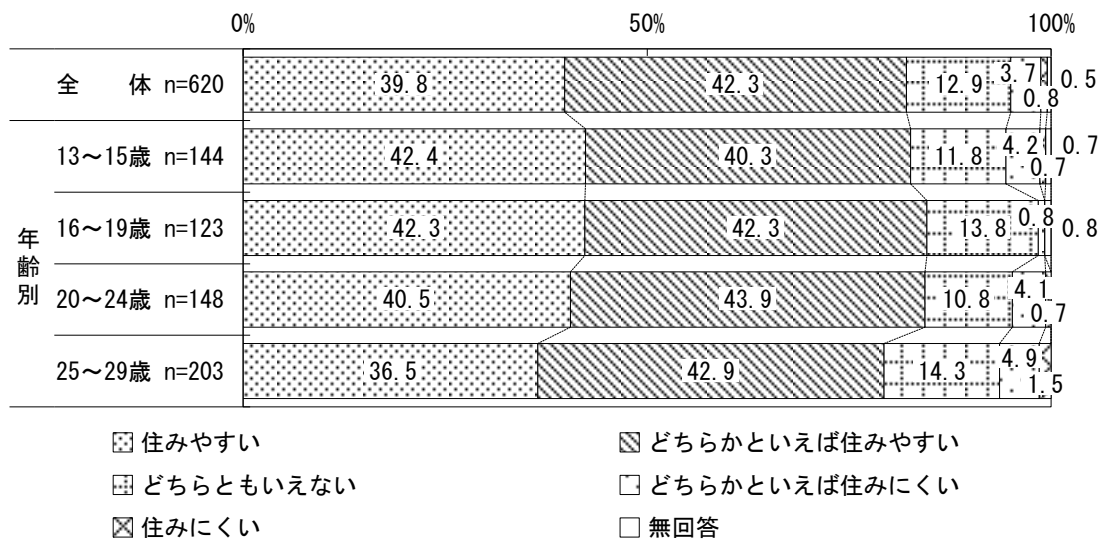
- ・子どもの権利が侵害されるようなことが起きた場合に最も相談しやすい相手としては、「家族、親戚」が65.5%と圧倒的に高くなっています。

n=620



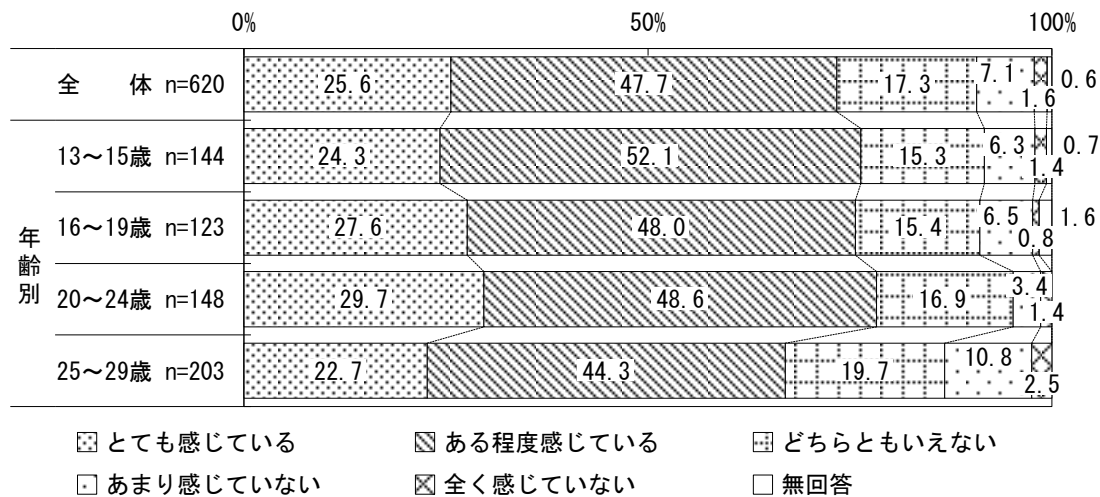
(19) 桑名市は住みやすいと思うか／問 25

- ・「どちらかといえば住みやすい」が42.3%と最も高く、「住みやすい」(39.8%)との合計は82.1%となります。



(20) 桑名市に愛着や親しみを感じているか／問 26

- ・「ある程度感じている」が47.7%と最も高く、「とても感じている」(25.6%)との合計は73.3%となります。



(21) 子どもや若い世代が暮らしやすく、夢がもてるには何が必要か／問 28

- ・「生活の利便性が高いこと(交通アクセスや買い物など)」が66.9%と最も高く、次いで「治安が良いこと」「子育ての環境が充実していること」の順となっています。

